

## Ⅱ 調査結果

### 第1章 県民の自己像



## 第1章 県民の自己像

今回の調査では、沖縄県民自身が何を思い、何を考えているかをより明らかにするため、県民の自己像をはじめ調査の対象に加えた。

本章では、家族や社会との関係を主な切り口として、自己と自己を取り巻く状況に対する等身大の県民意識を沖縄県民の自己像としてまとめた。

「1 自己及び家族に対する意識」では、「人と人のつながりは強まったと思うか」、「20年先の沖縄は現在よりも発展していると思うか」、「努力すれば人生は変わると思うか」、「幸せだと感じているか」、「幸せを感じる時」、「世帯の経済状況」、「仕事への満足度」、「家族との関係」、「健康状態」、「住まいへの満足度」、「生きがい」の11項目について尋ねた。

「2 自己及び社会に対する意識」では、「社会に対する満足度」、「県民間の経済格差」、「沖縄県に誇りを感じるか」、「沖縄県に生まれてよかったと思うか」、「米軍施設への認識」、「友人・知人の数」、「イベント・催し物への参加」の7項目について尋ねた。

設問に対する回答は、それぞれ地域別、年代別、性別、年収別による集計を行った。

# 1. 自己及び家族に対する意識（問1）

## (1) 人と人のつながり（問1-1）

10年前の沖縄に比べて、人と人のつながりは強まったと思うかについて、「弱まった」（43.5%）という答えが半数近くを占め、「強まった」「変わらない」（計32.4%）と思う人より10%ほど高くなっている。同時に「わからない」（23.7%）と答えた人も目立つ。

地域別で見ると、「変わらない」と答えた人は中部（28.2%）が最も高く、八重山（15.2%）が最も低い。「弱まった」と答えた人が宮古（25.9%）では特に少ない。年代別では、「弱まった」と思う人が40～60代に多い。年収別で見ると、「強まった」と思う人は400～500万円未満以上の人でやや高く、「わからない」と答えた人が200～300万円未満以下の年収層で特に多い。

全体的に見ると、半数近くの県民が人と人のつながりは以前より弱まったと感じている。

図 1-1-1-1 問 1-1 人と人のつながり

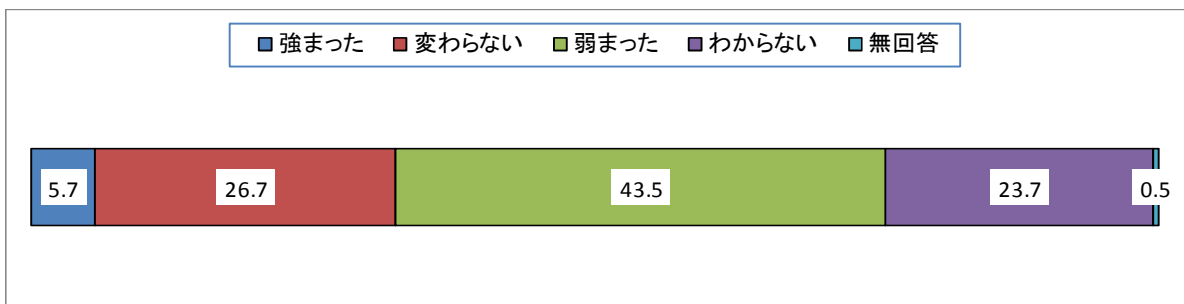


図 1-1-1-2 地域別 問 1-1

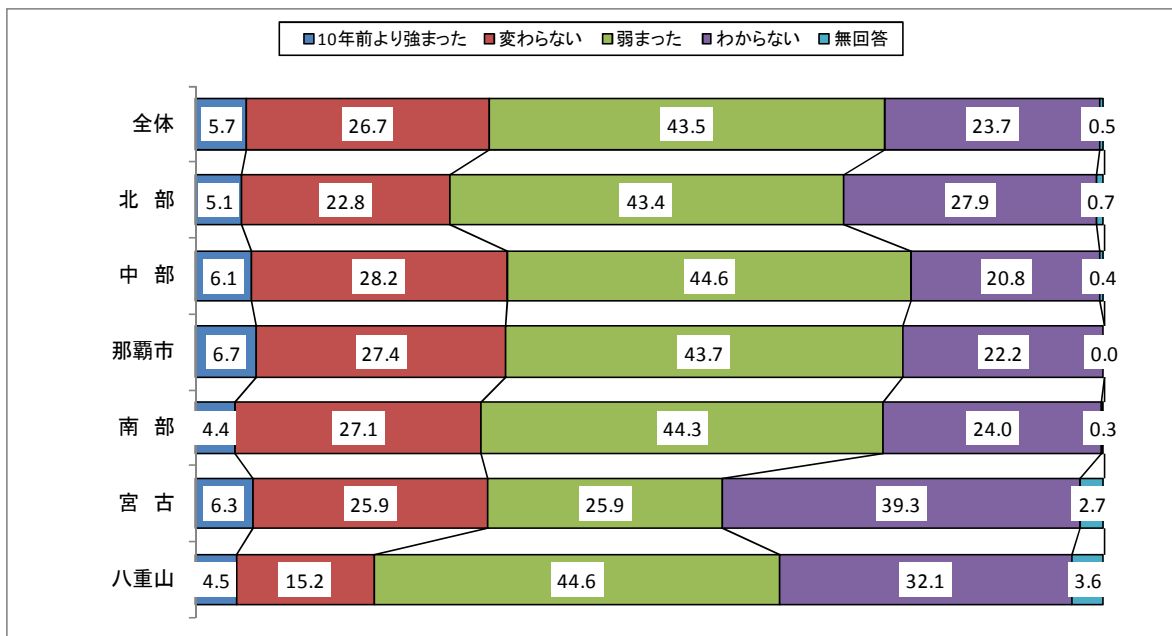


図 1-1-1-3 年代別 問 1-1

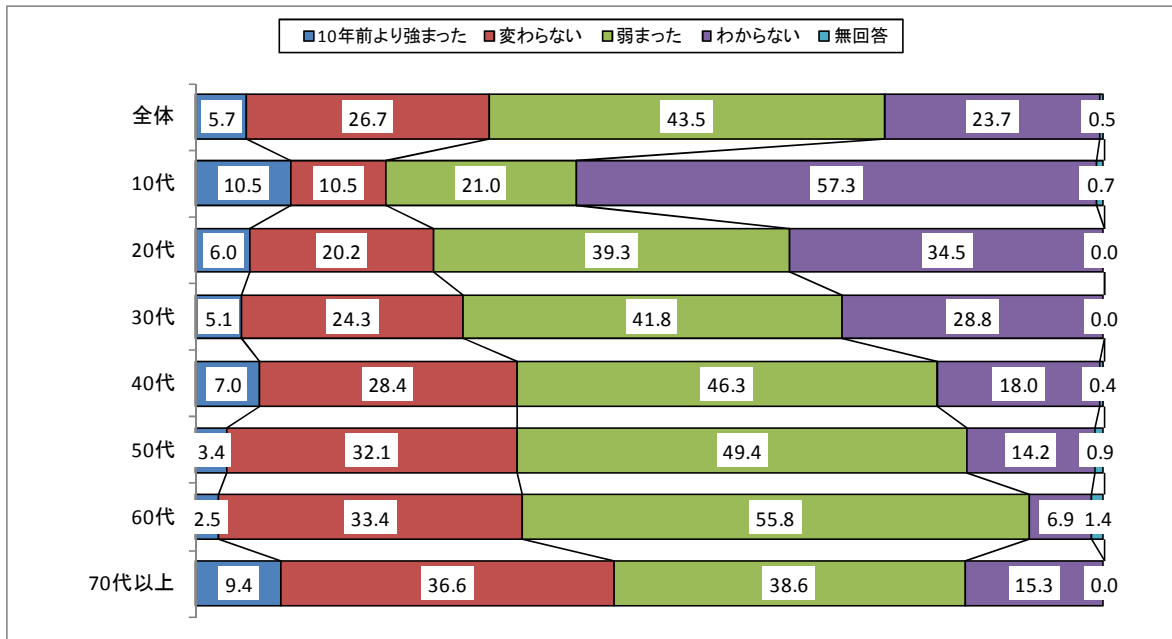


図 1-1-1-4 性別 問 1-1

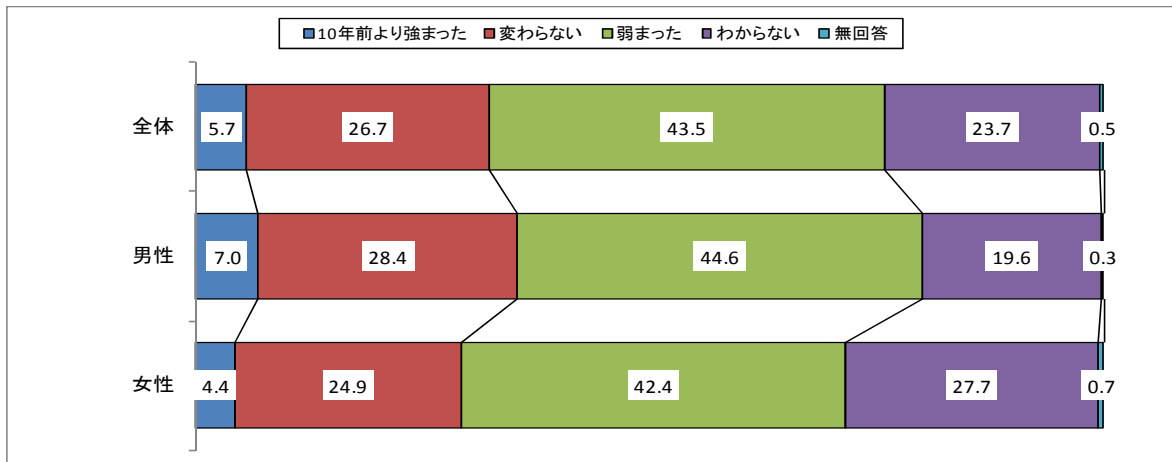
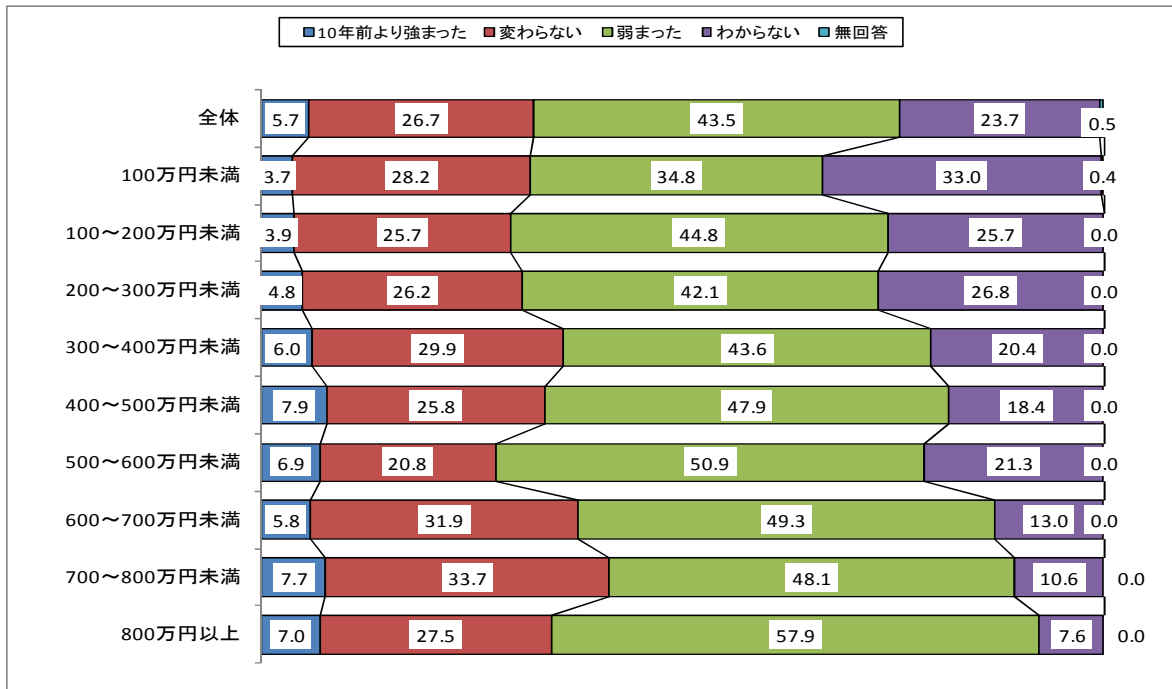


図 1-1-1-5 年収別 問 1-1



(2) 20年先の沖縄 (問 1-2)

20年先の沖縄は現在より発展し輝いていると思うかについて、「そう思う」(22.2%)と答えた人より「そうは思わない」(27.2%)と答えた人が若干多い。また、「今とあまり変わらない」(31.4%)と答える人が最も多いものの、「わからない」(18.7%)と答えた人も目立つ。

地域別・年代別・性別で特に大きな差は見られないが、強いて言えば、「わからない」と答えた人が10代(28.8%)で目立つ点が注目される。年収別で見ると、「そう思う」と答えた人は高年収層でやや多く、「わからない」と答えた人が200～300万円未満以下の年収層で目立つ。

全体的に見ると、現状と同じか発展していると思う人は半数を超えているものの、「そうは思わない」人や判断しかねる人が約46%いる。

図 1-1-2-1 問 1-2 20年先の沖縄

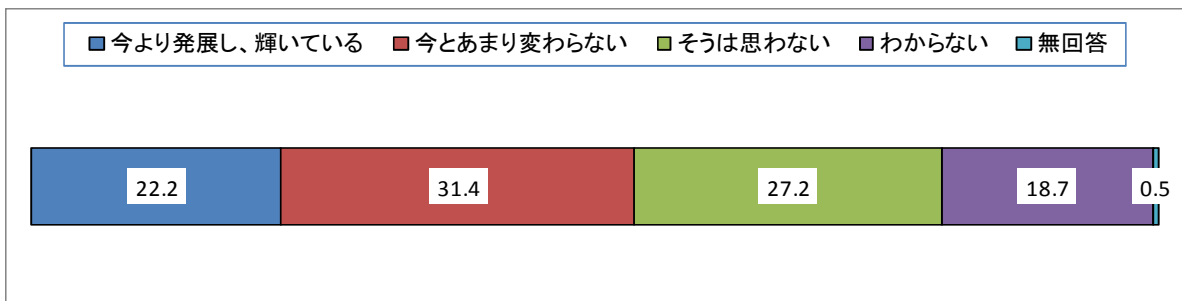


図 1-1-2-2 地域別 問 1-2

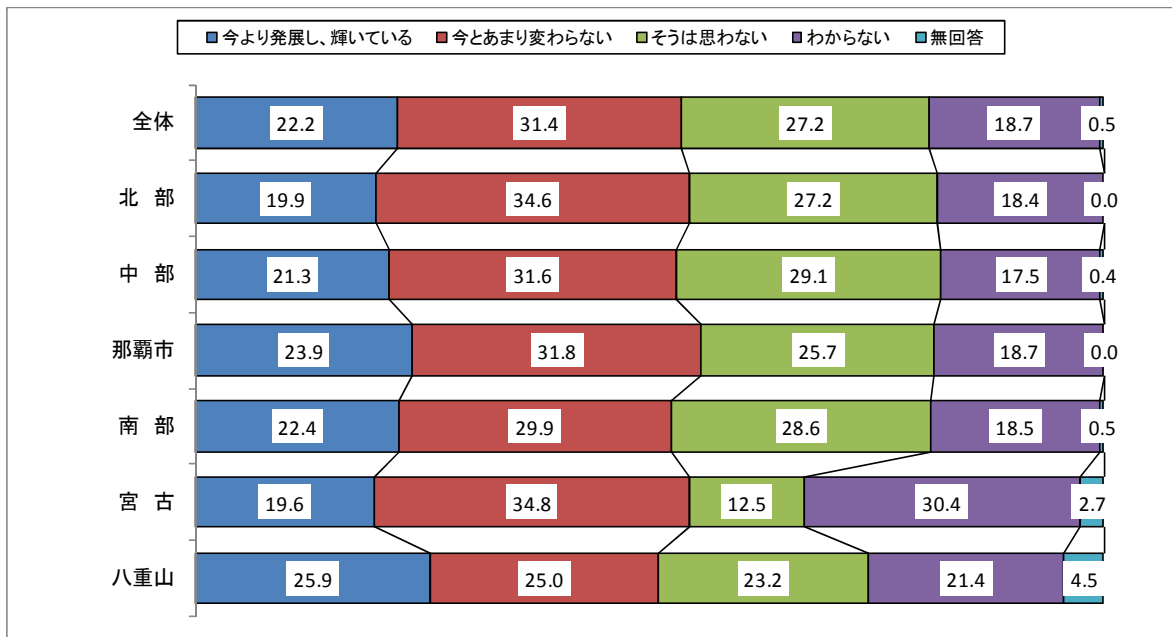


図 1-1-2-3 年代別 問 1-2

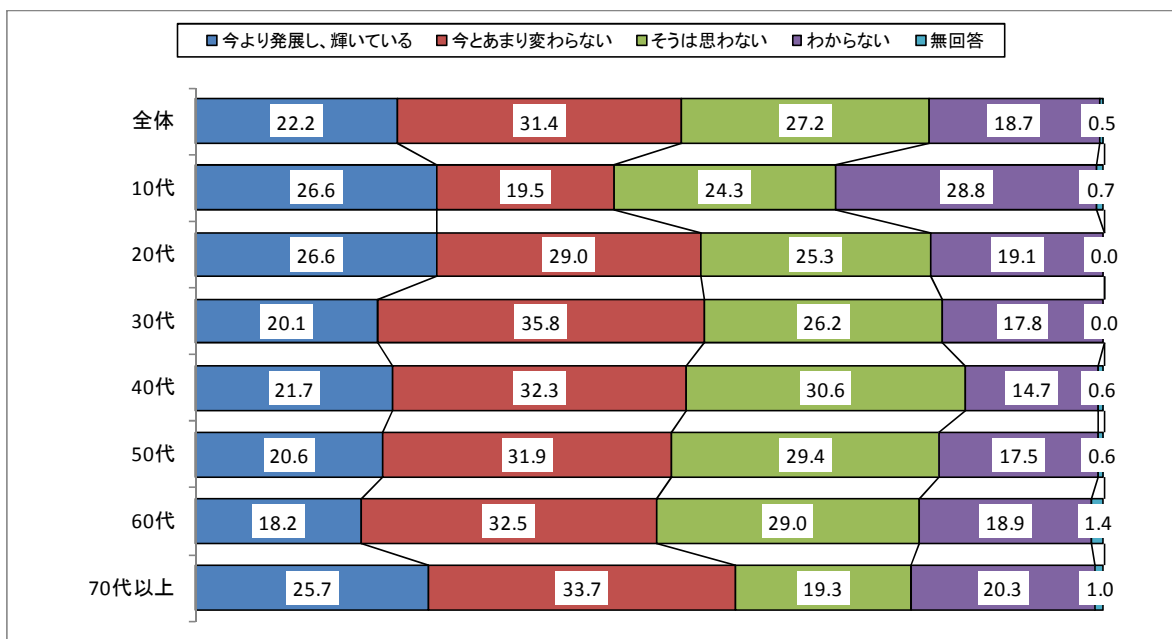


図 1-1-2-4 性別 問 1-2

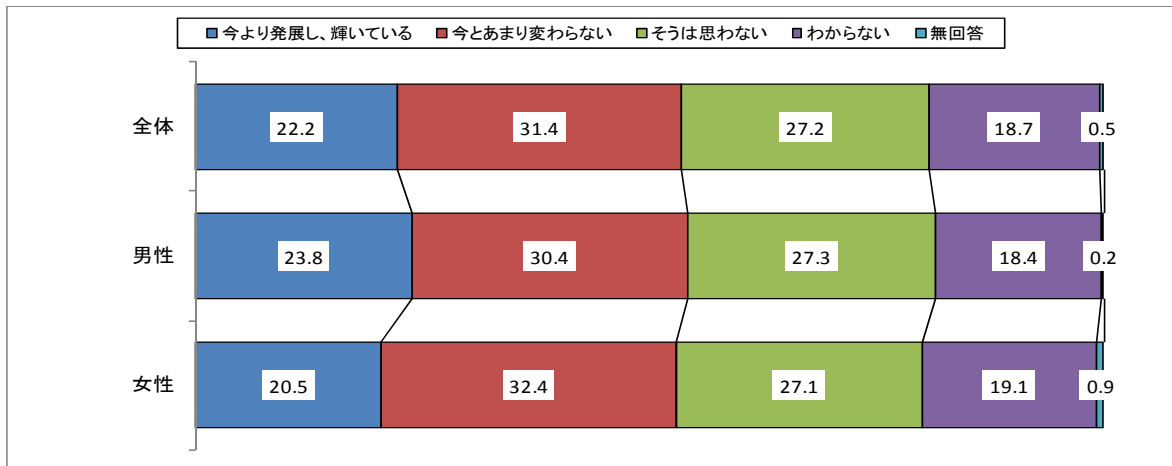
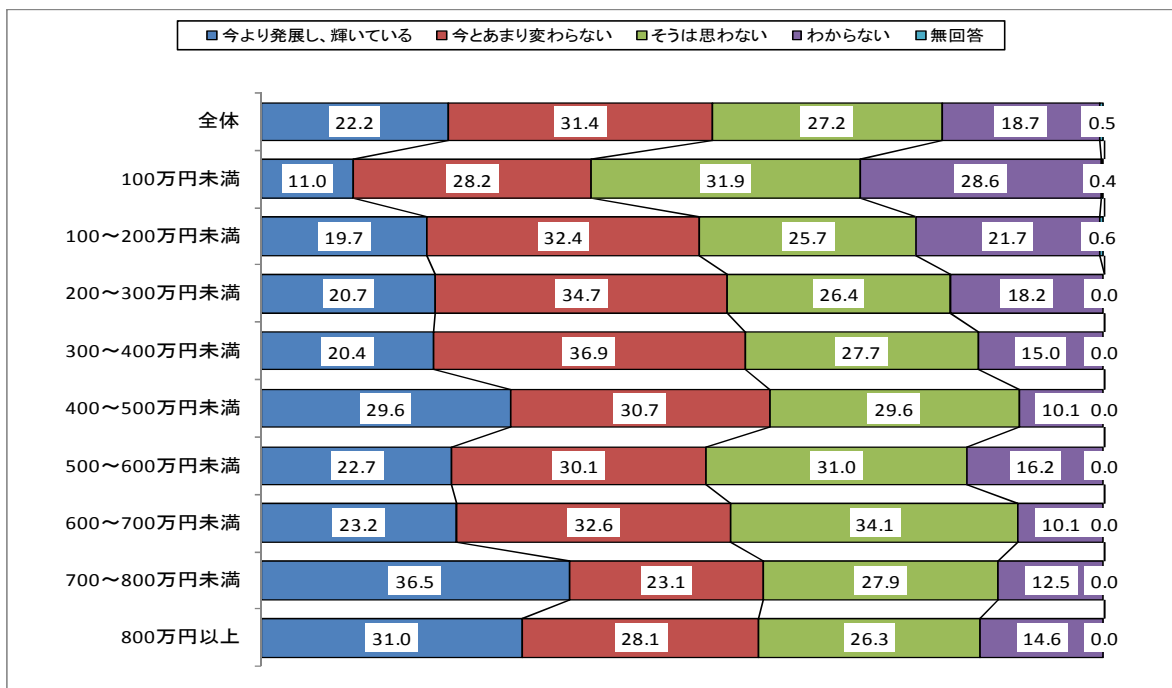


図 1-1-2-5 年収別 問 1-2



(3) 努力すれば人生は変わるか (問 1-3)

努力すれば人生は変わると思うかについて、「そう思う」(48.6%)「どちらかと言えばそう思う」(41.1%)と答えた人が約9割を占めており、県民の前向きな姿勢や態度が特徴的である。

この傾向は地域別・年代別・性別でも違いは見られず、将来への意欲的な態度が確認できる。年収別で見ると、「そう思う」と答えた人が高年収層でやや高い。100万円未満の年収層においても、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計が約81%に達している。

全体的に見ると、県民の約9割は努力すれば人生は変わるという前向きな意識を持っている。



図 1-1-3-1 問 1-3 努力すれば人生は変わるか

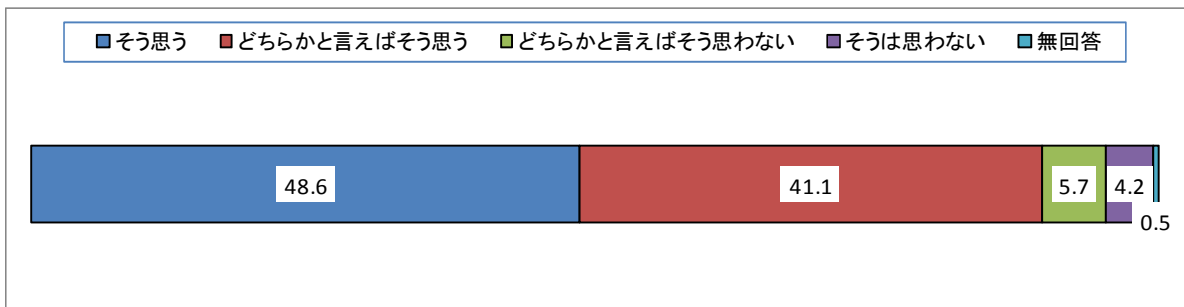


図 1-1-3-2 地域別 問 1-3

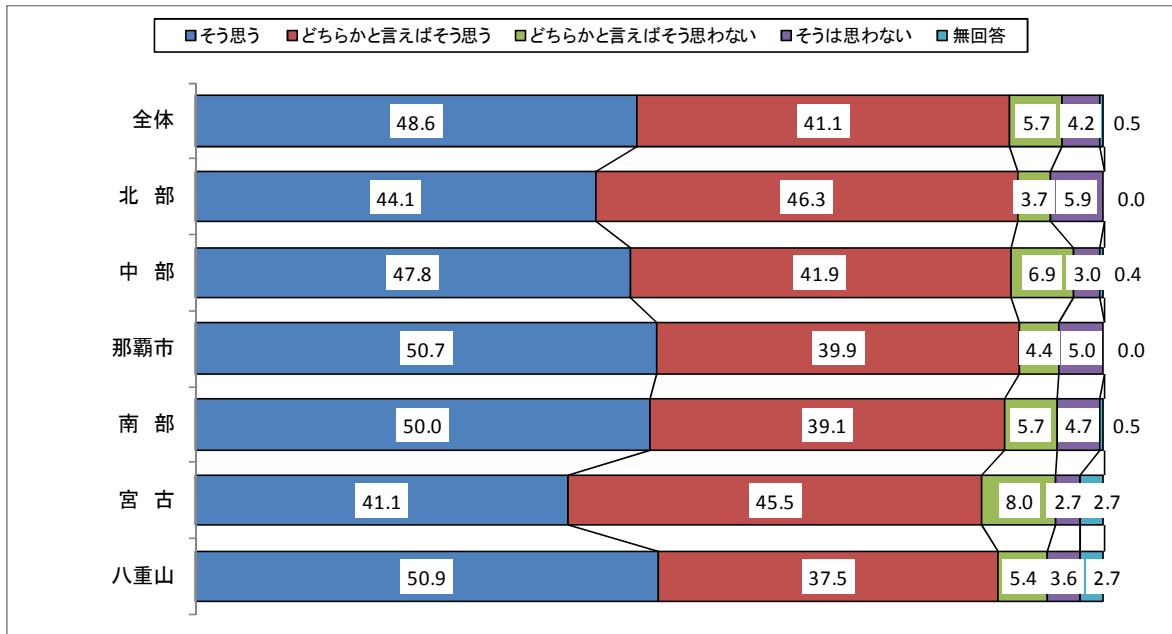


図 1-1-3-3 年代別 問 1-3

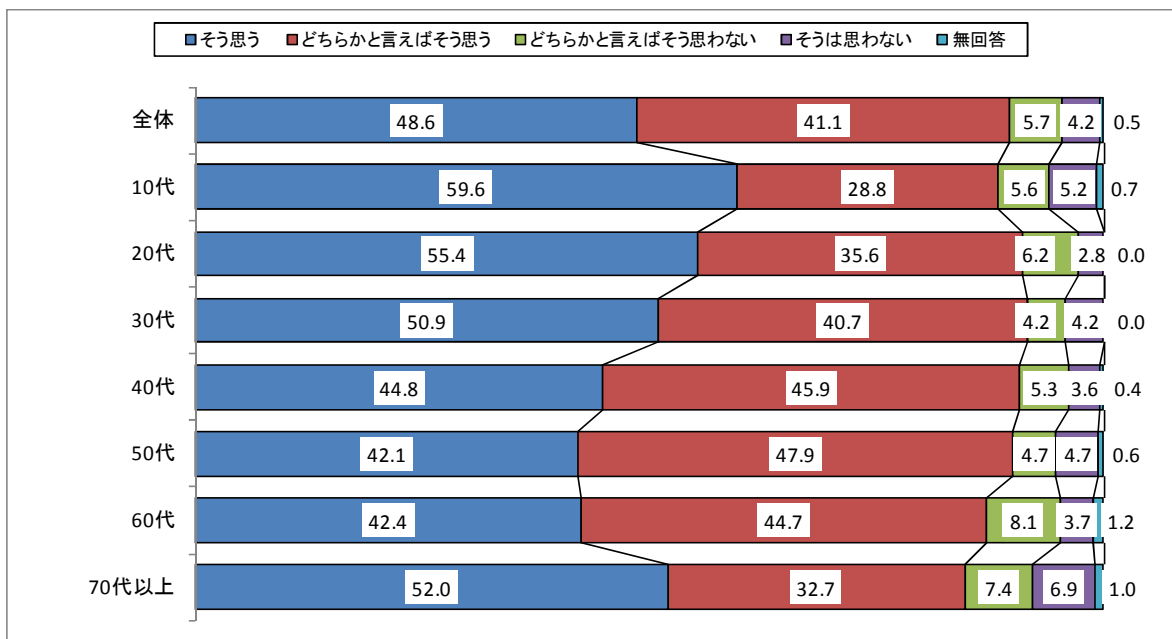


図 1-1-3-4 性別 問 1-3

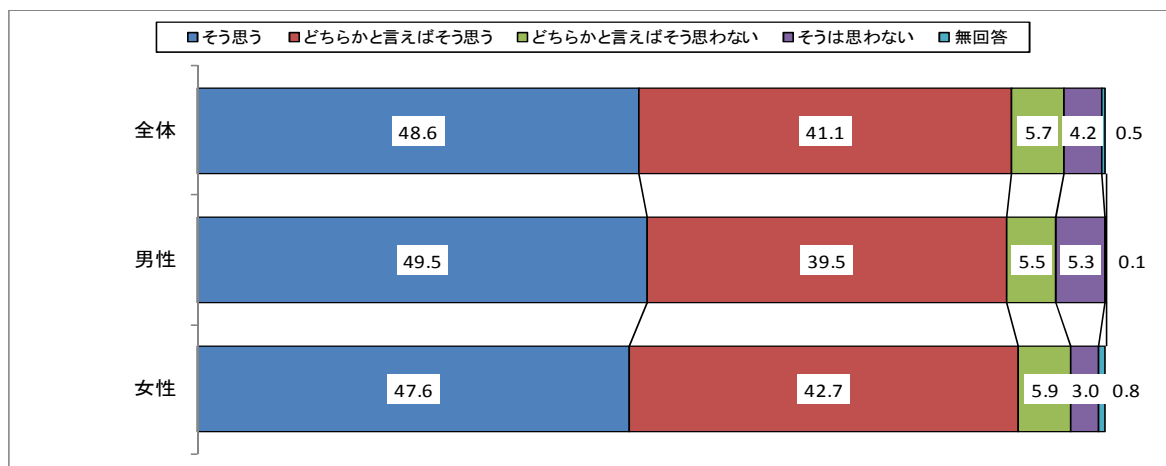
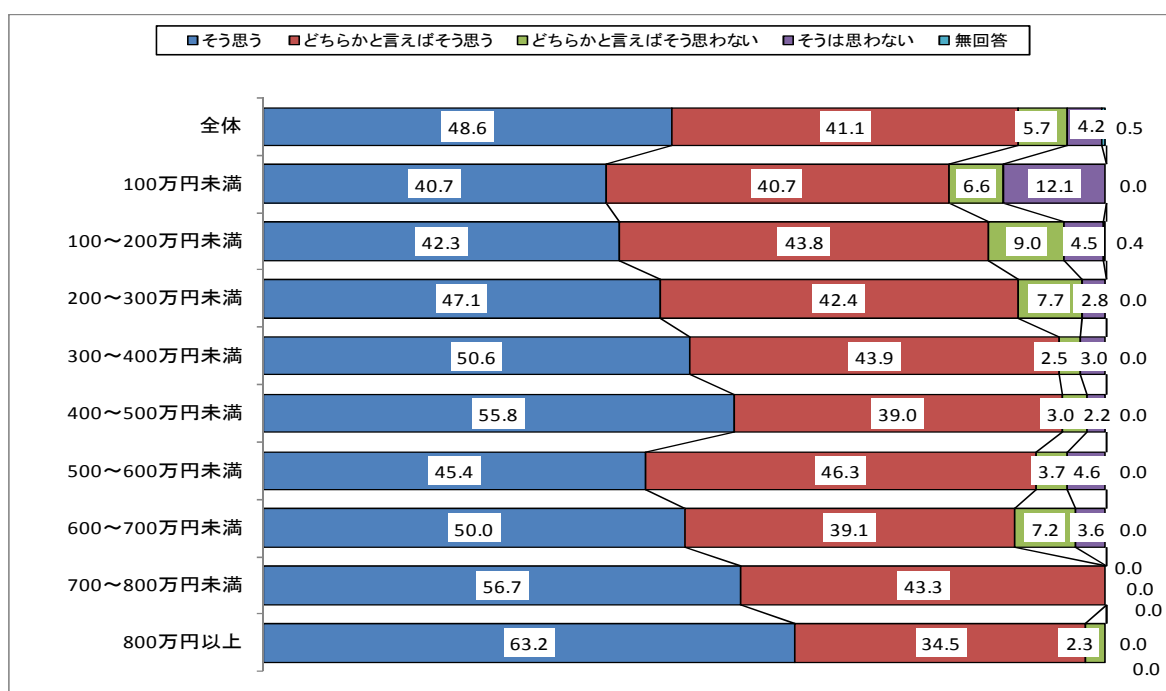


図 1-1-3-5 年収別 問 1-3



(4) 「幸せ」だと感じているか (問 1-4)

今、幸せだと感じているかについて、「幸せと感じている」(38.3%)と「どちらかと言えば感じている」(45.5%)の合計が8割を超えており、県民の幸せ感の高さが特徴的である。「どちらかと言えば感じていない」(10.6%)「感じていない」(5.0%)に比べて突出している。

地域別・年代別でも違いは見られないが、強いて言えば、性別で男性のほうが女性より「感じている」が4.8%低い。年収別で見ると、100～200万円未満以下の年収層では「どちらかと言えば感じていない」「感じていない」と答えた人の割合が高い。

全体的に見ると、県民の8割余は幸せだと感じている。

図 1-1-4-1 問 1-4 「幸せ」だと感じているか

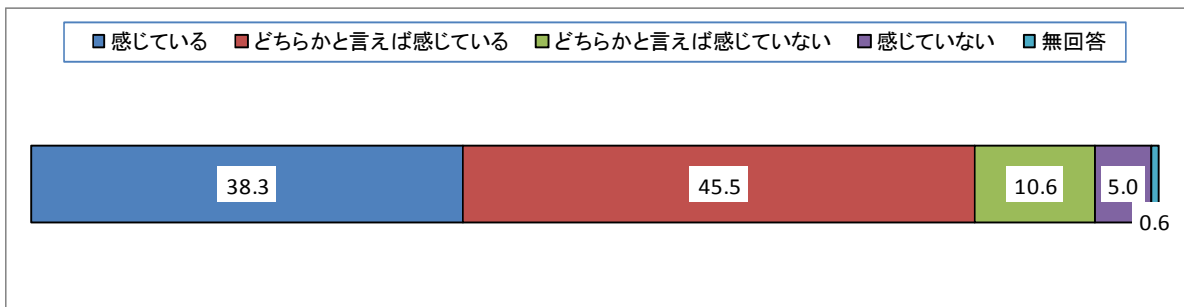


図 1-1-4-2 地域別 問 1-4

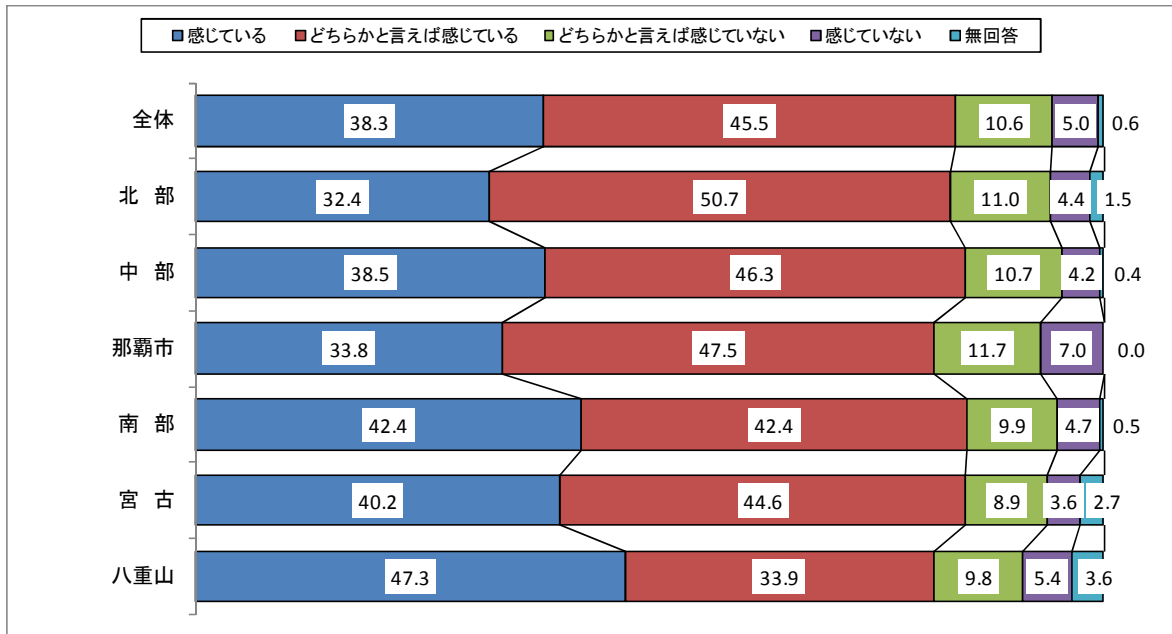


図 1-1-4-3 年代別 問 1-4

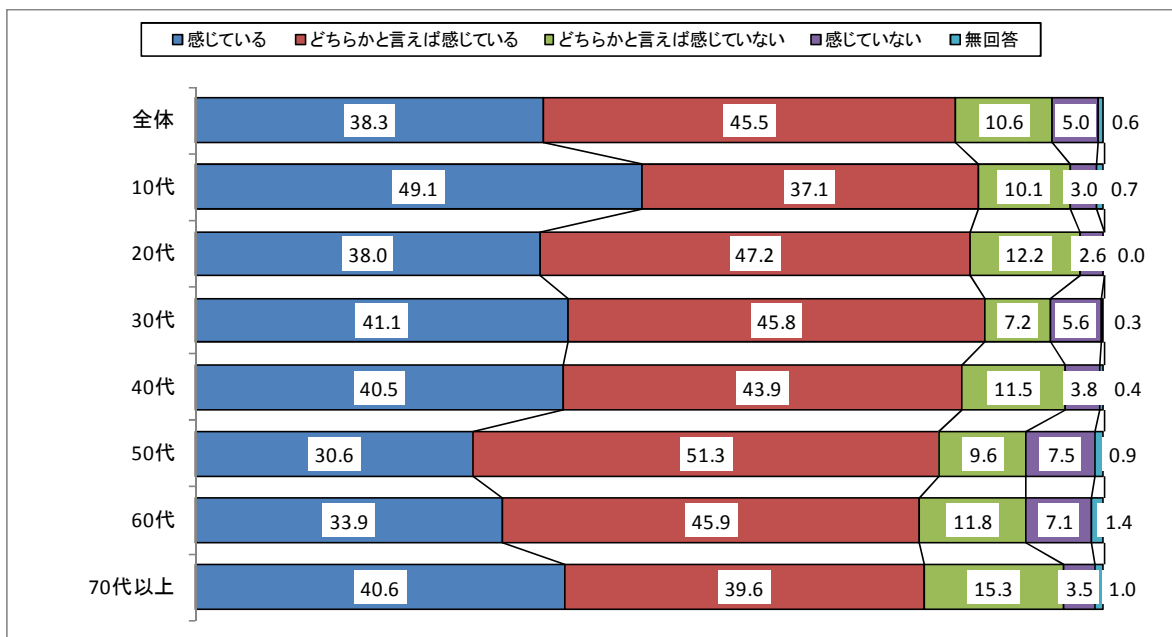


図 1-1-4-4 性別 問 1-4

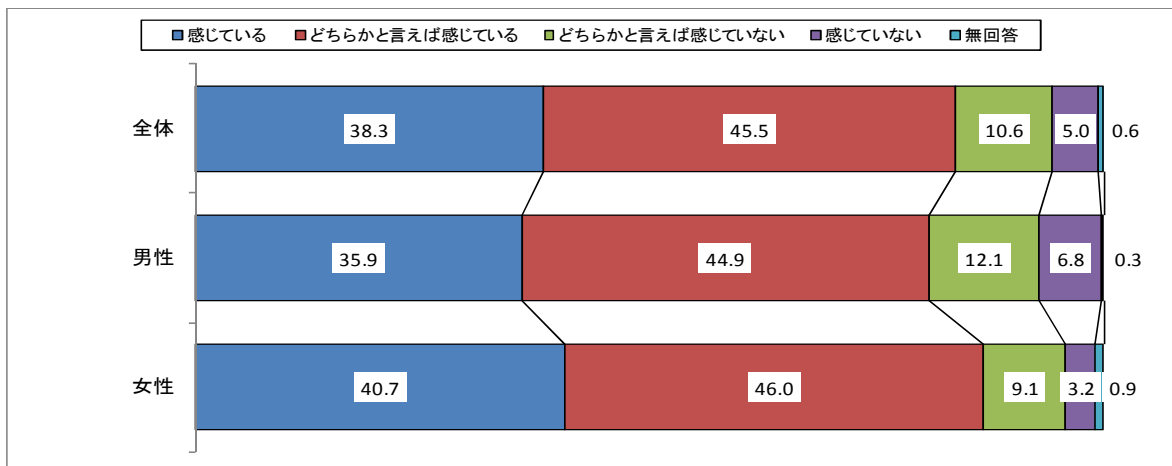
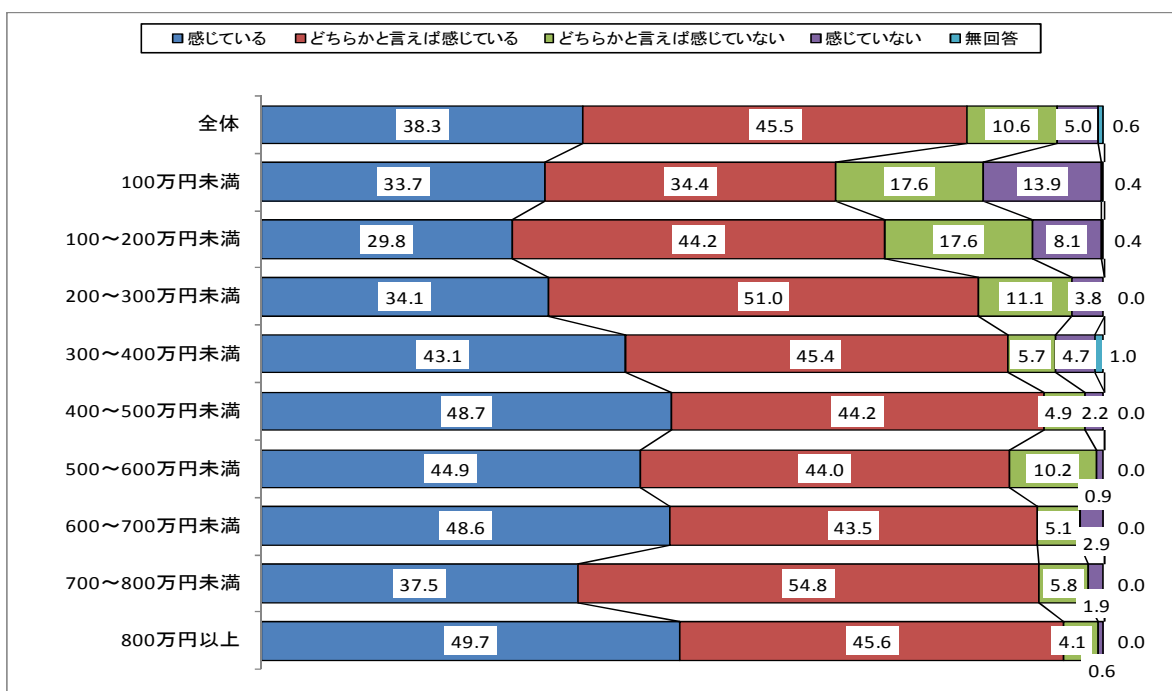


図 1-1-4-5 年収別 問 1-4



(5) 幸せを感じる時 (問 1-5)

人と人のつながりの中で、もっとも幸せだと感じる時を2つ選択してもらったところ、「家族と一緒にいるとき」(79.3%)と「仲間と一緒にいるとき」(62.2%)の回答が多かった。「職場の人と一緒にいるとき」「自分一人になったとき」の計14.5%と比較すると「家族」「仲間」の数値は際立っている。

地域別・年代別・性別・年収別で見ても大きな違いはない。

全体的に見ると、県民は「家族」や「仲間」とのつながりに幸せを感じており、職場の同僚とのつながりや自分ひとりであることには幸せを感じていない。

図 1-1-5-1 問 1-5 幸せを感じる時

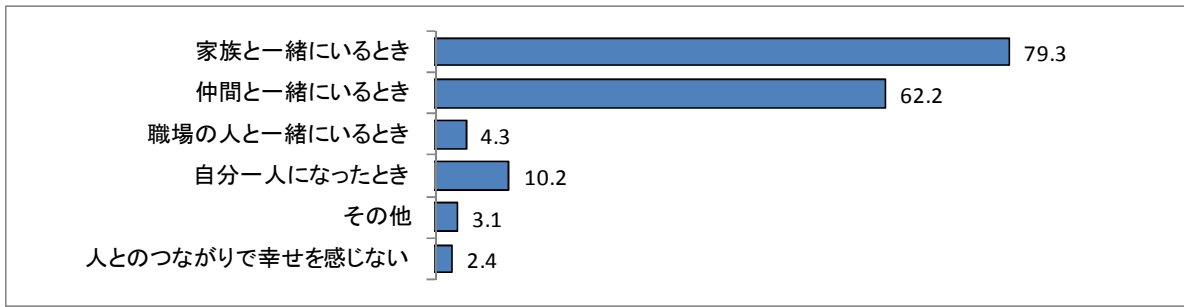


図 1-1-5-2 地域別 問 1-5

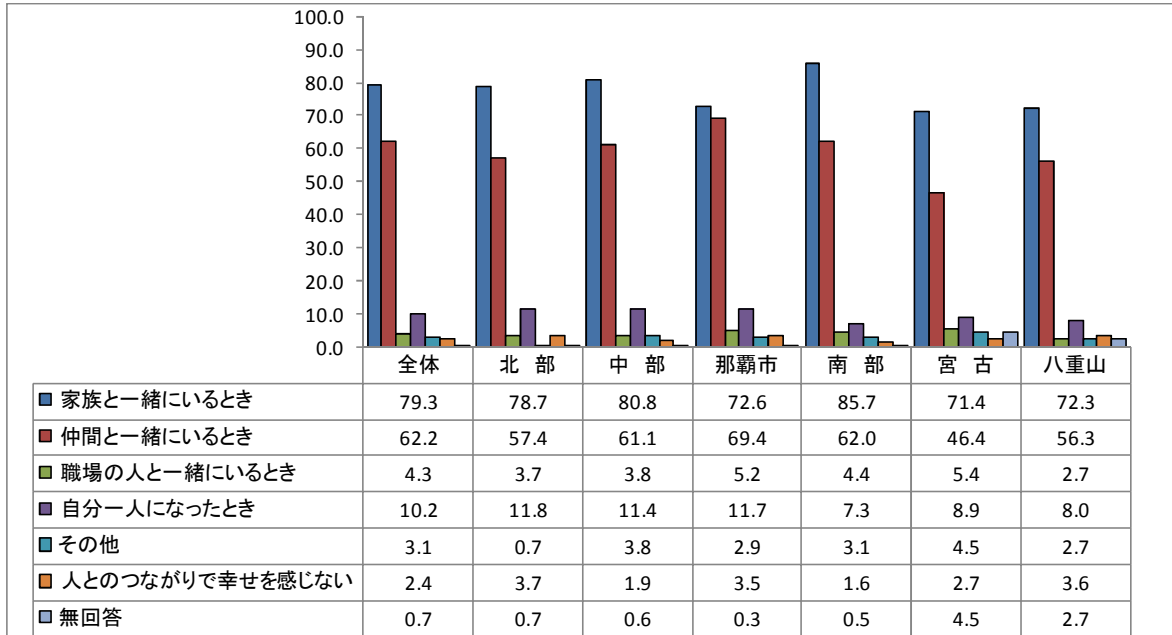


図 1-1-5-3 年代別 問 1-5

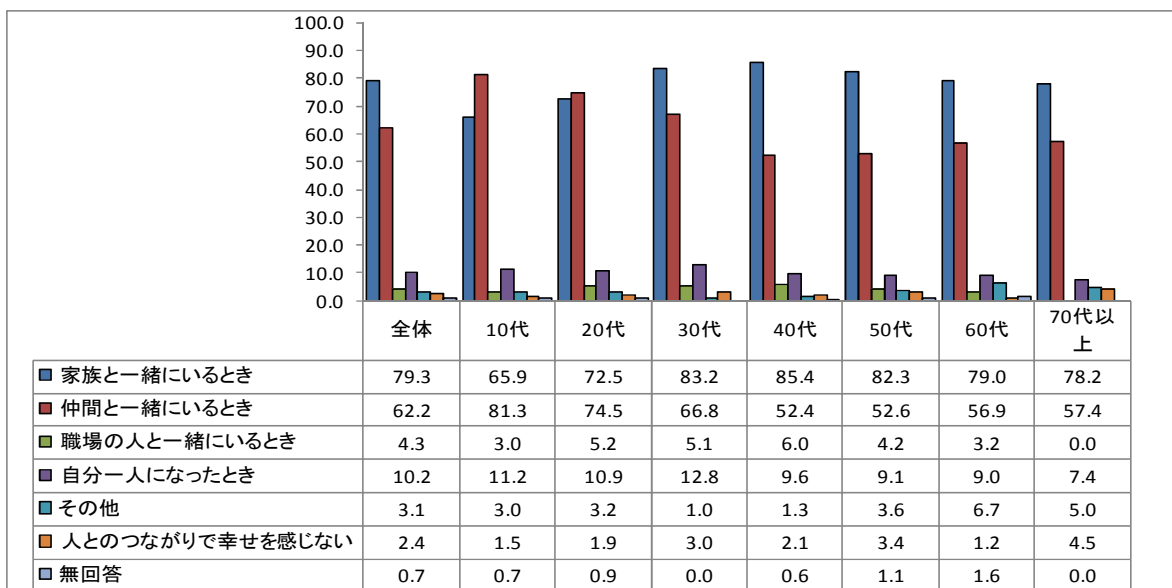


図 1-1-5-4 性別 問 1-5

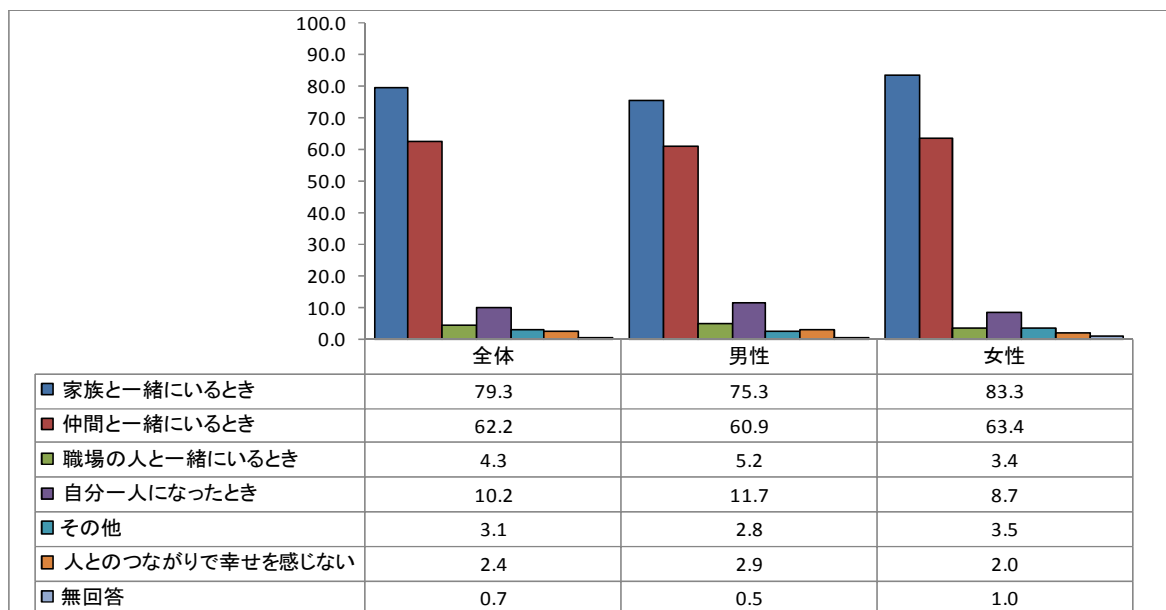
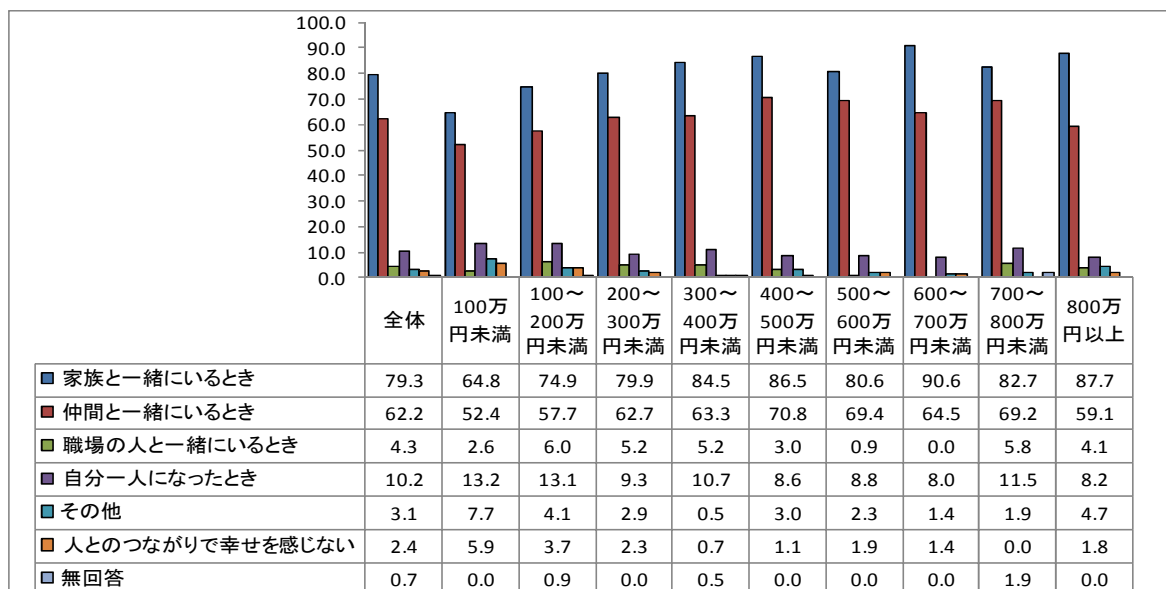


図 1-1-5-5 年収別 問 1-5



(6) 世帯の経済状況 (問 1-6)

今の経済状況について、「かなり余裕がある」と「やや余裕がある」(計 12.6%) と答えた人と「かなり苦しい」(12.9%) と答えた人はほぼ同数だが、約半数の人が「余裕はないが生活にはこまらない」(48.0%) と答えている。一方、38%以上の人が「やや苦しい」又は「かなり苦しい」と答えている。

地域別で見ると、「かなり苦しい」と答えた人が宮古・八重山でやや低い。年代別では「やや苦しい」と答えた人が、20代、30代、50代でやや高い。年収別で見ると、400～500万円未満以上の年収層においては、「余裕はないが生活にはこまらない」が目立つが、逆にそれ以下の年収層、特に200～300万円未満以下の年収層では「やや苦しい」「かなり苦しい」と答えた人が多くなる。

全体的に見ると、県民の約6割は生活に困らない状況にあるものの、約4割は余裕のない厳しい状況だと感じている。

図 1-1-6-1 問 1-6 世帯の経済状況

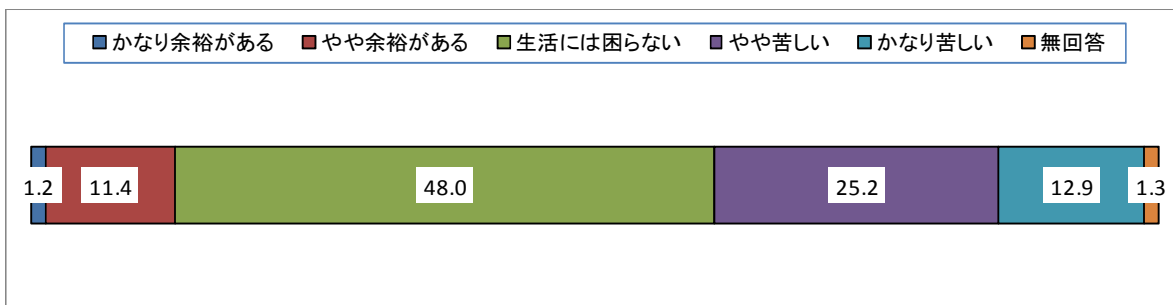


図 1-1-6-2 地域別 問 1-6

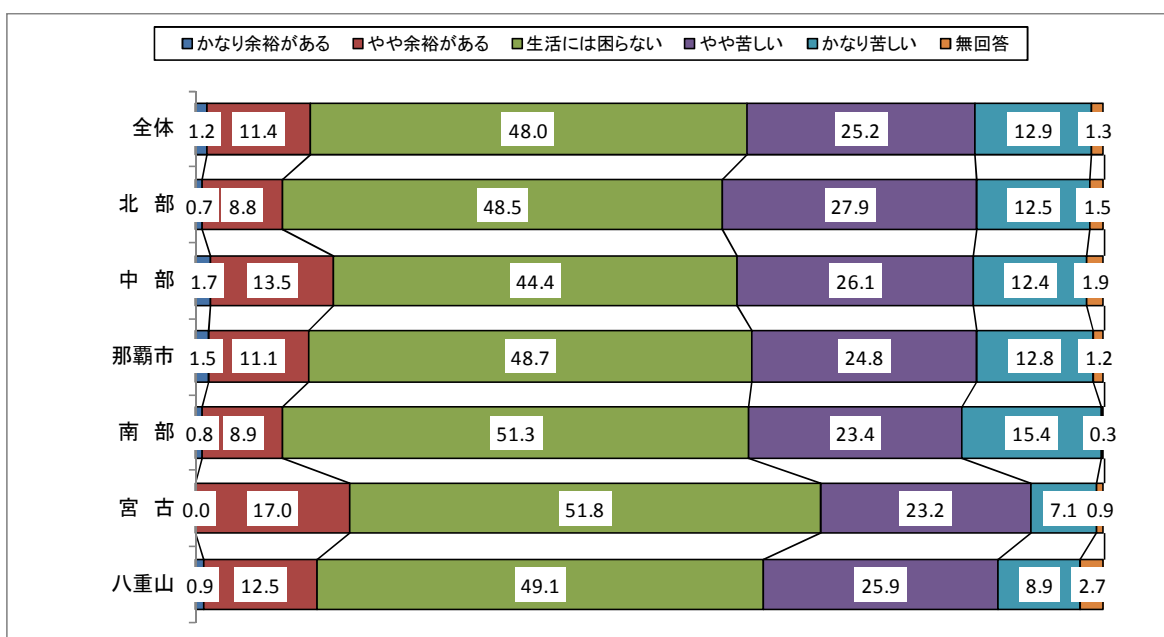


図 1-1-6-3 年代別 問 1-6

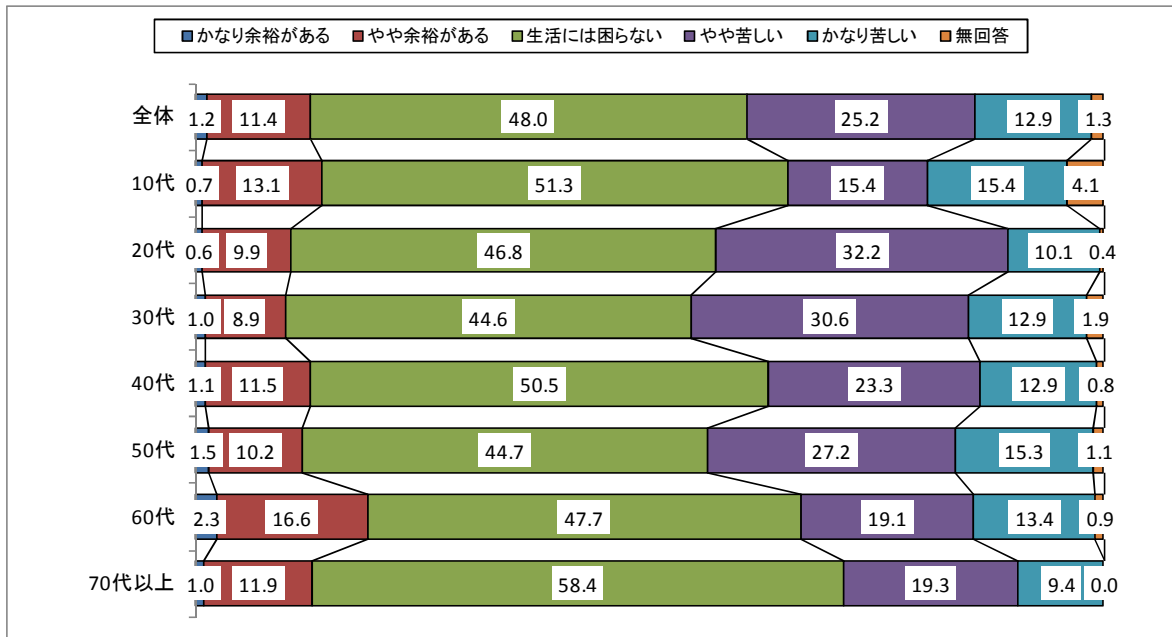


図 1-1-6-4 性別 問 1-6

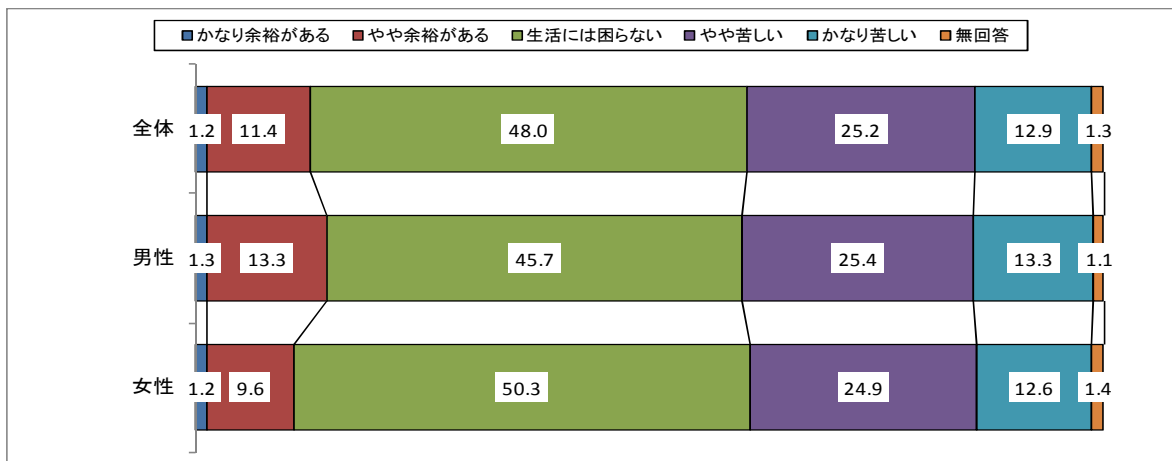
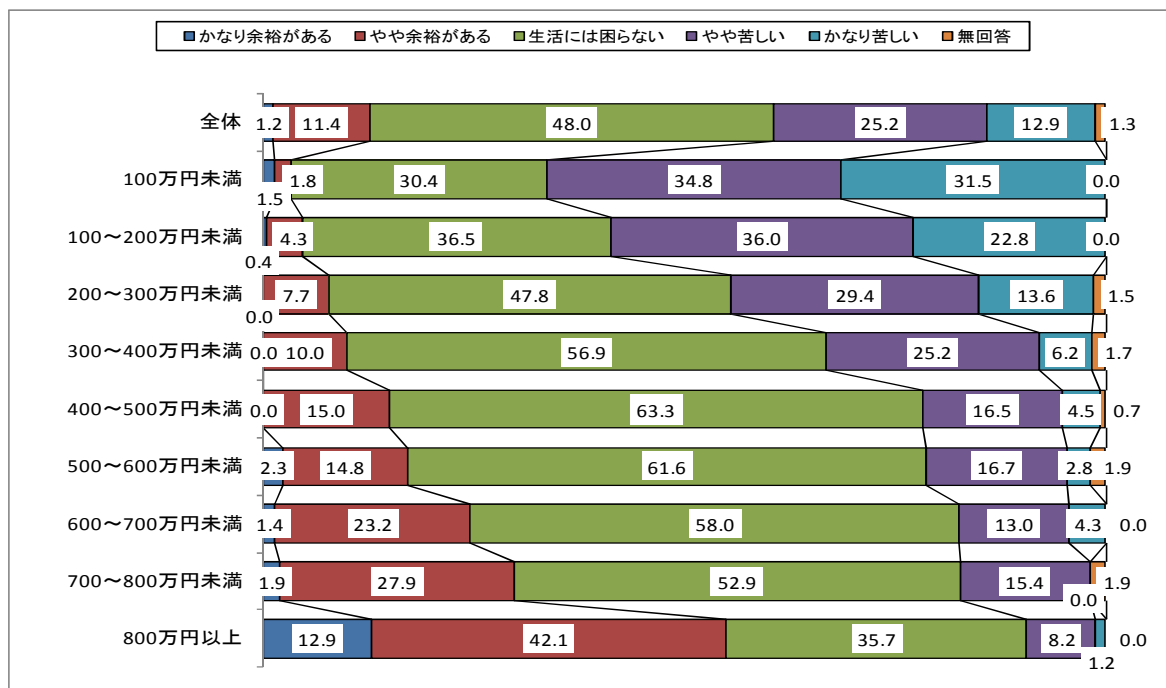




図 1-1-6-5 年収別 問 1-6



(7) 仕事への満足度 (問 1-7)

就労している今の仕事に満足しているかどうかについて、「満足している」(17.5%)「どちらかと言えば満足している」(43.9%)と答えた人の合計が61.4%に対し、「どちらかと言えば満足していない」(22.7%)「満足していない」(10.0%)と答えた人の合計は32.7%である。

地域別・年代別に見ても大きな違いはない。年代別に見ると、30代～50代の人がその他の年代の人に比べて、今の仕事に満足している傾向が強い。年収別で見ると700～800万円未満以上の年収層において満足度が高い。

全体的に見ると、仕事の満足派は約6割、不満派は約3割である。

図 1-1-7-1 問 1-7 仕事への満足度

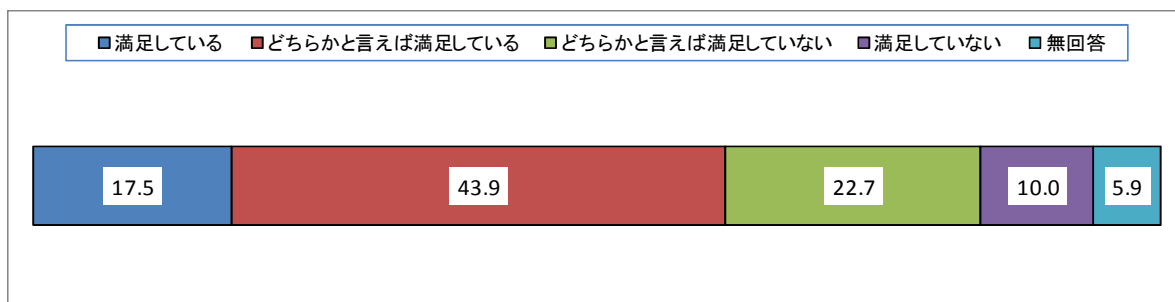


図 1-1-7-2 地域別 問 1-7

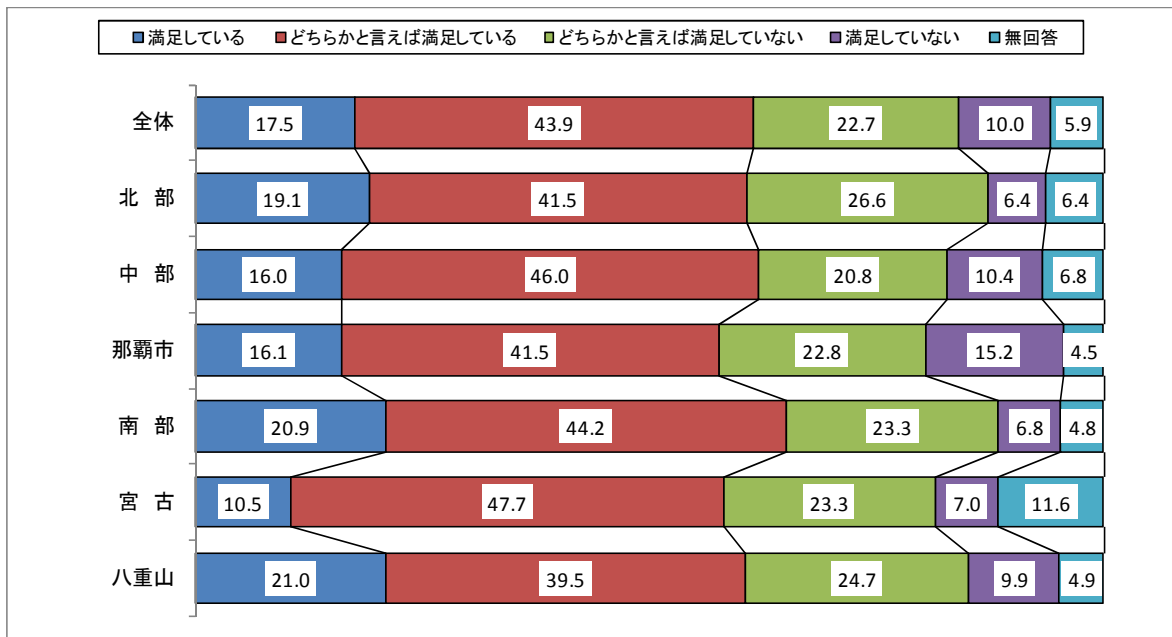


図 1-1-7-3 年代別 問 1-7

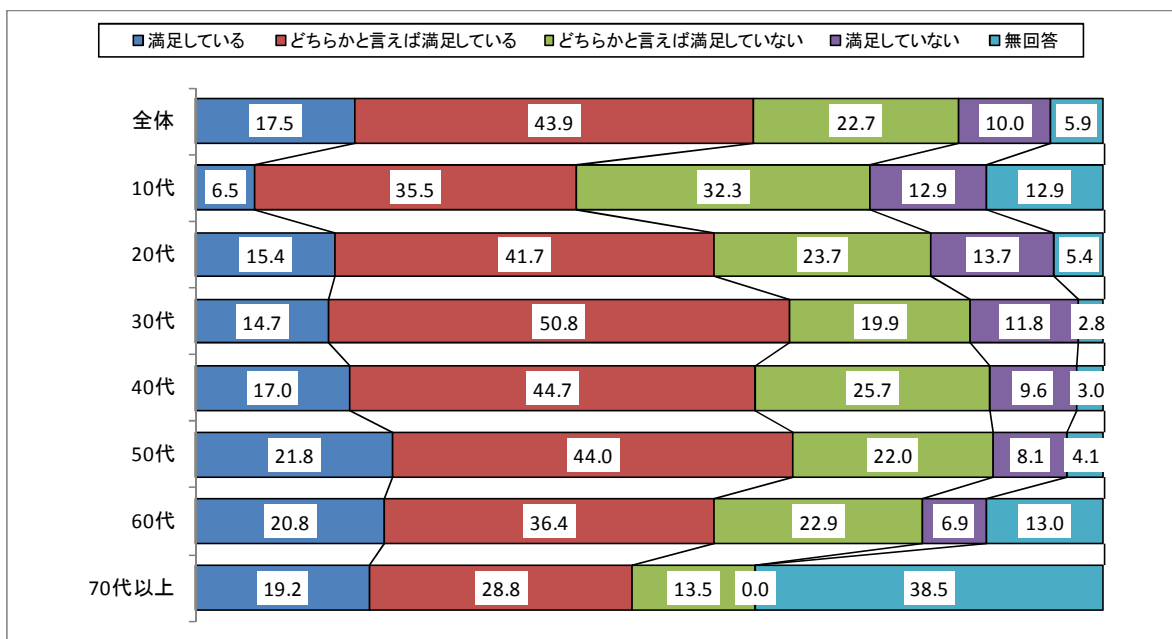


図 1-1-7-4 性別 問 1-7

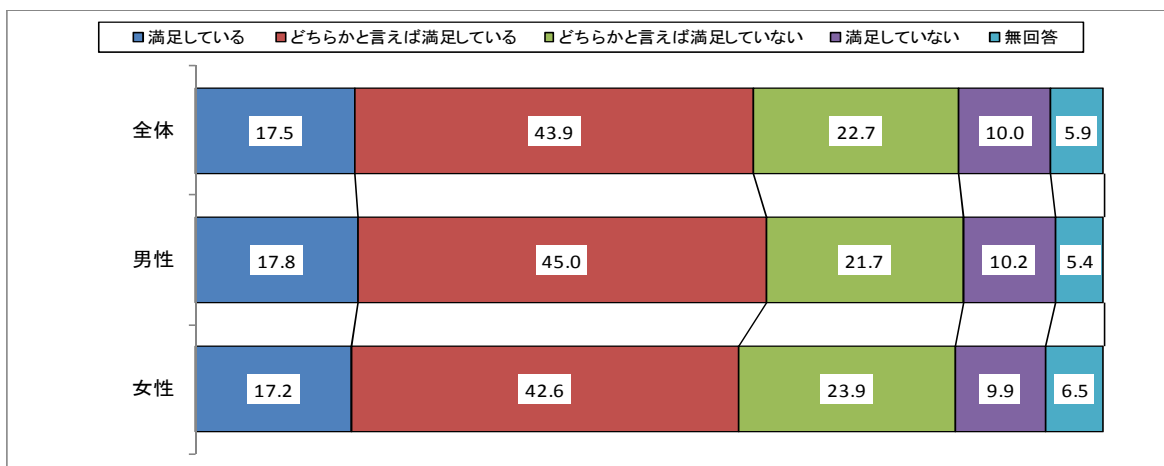
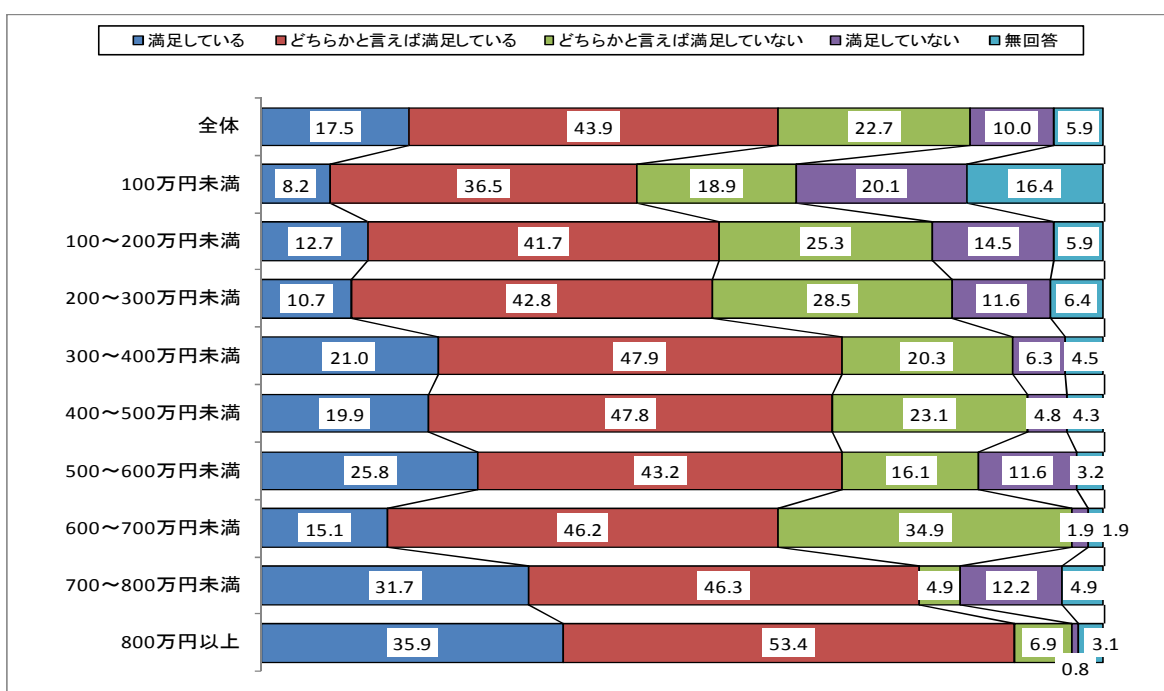


図 1-1-7-5 年収別 問 1-7



(8) 家族との関係 (問 1-8)

家族との関係は良好だと思うかについて、「非常に良好だと思う」(38.4%)と答えた人が4割近くあり、これに「どちらかと言えば良好だと思う」(51.3%)を加えると、9割近くが良好だと思っている。そうではないと感じている人は1割弱である。

地域別・年代別・性別で見ても基本的には同様である。年収別で見ると、若干のばらつきはあるものの、高年収になるにしたがって「良好」と思う人が多い。

全体的に見ると、県民の約9割は良好な家族関係を感じている。

図 1-1-8-1 問 1-8 家族との関係

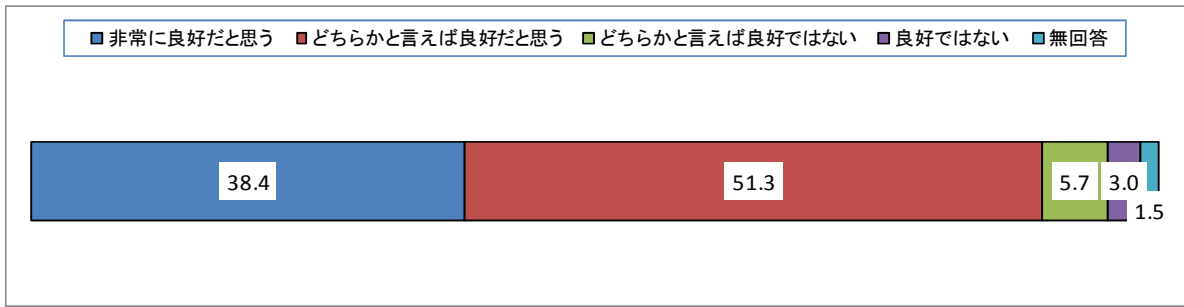


図 1-1-8-2 地域別 問 1-8

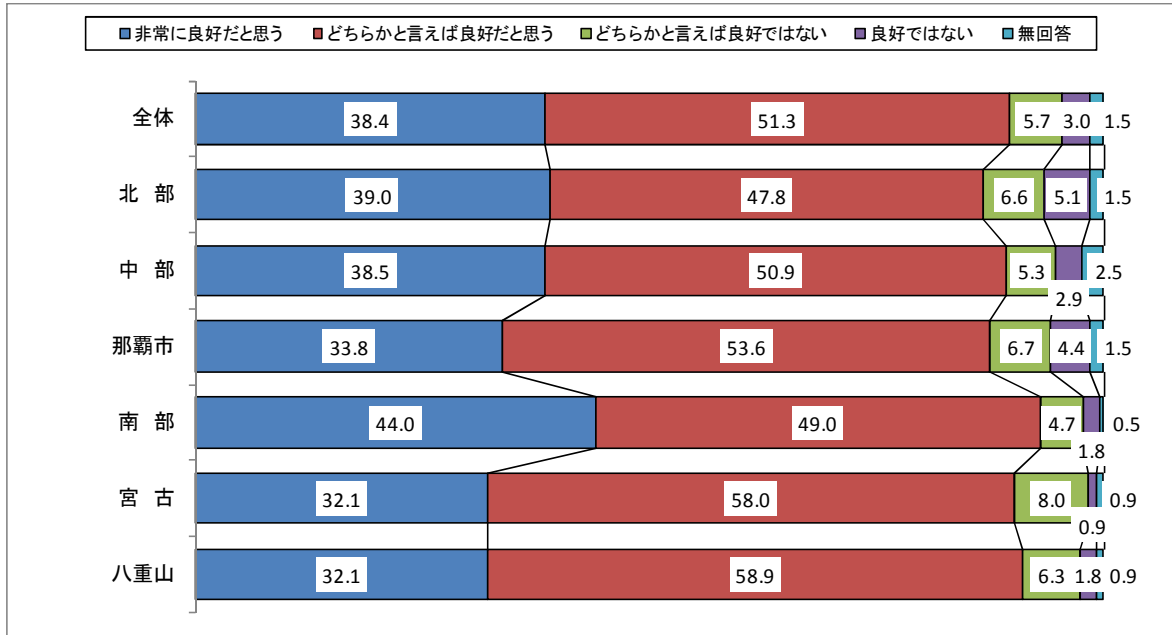


図 1-1-8-3 年代別 問 1-8

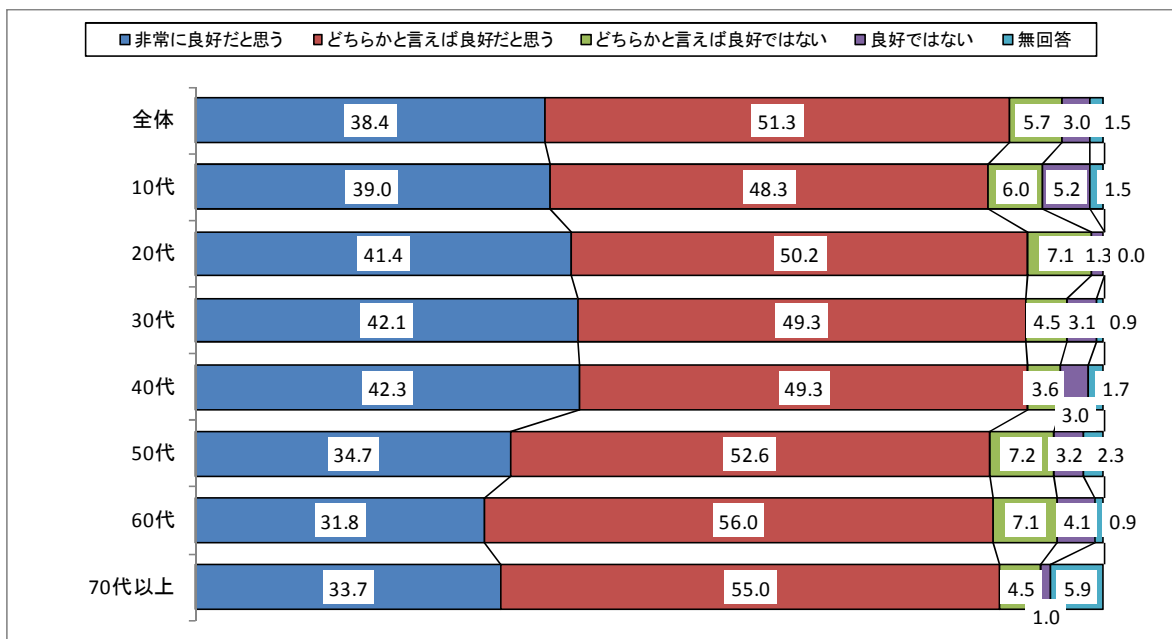


図 1-1-8-4 性別 問 1-8

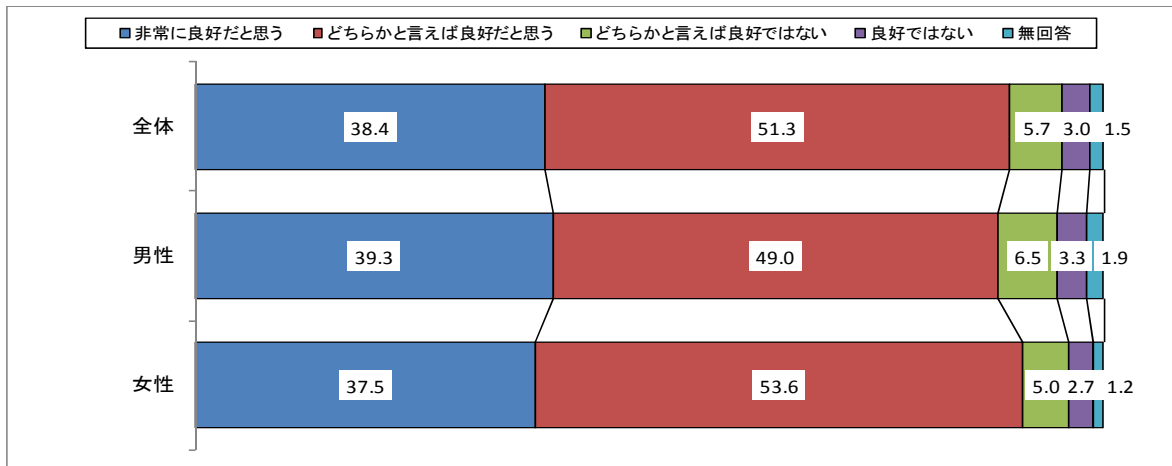
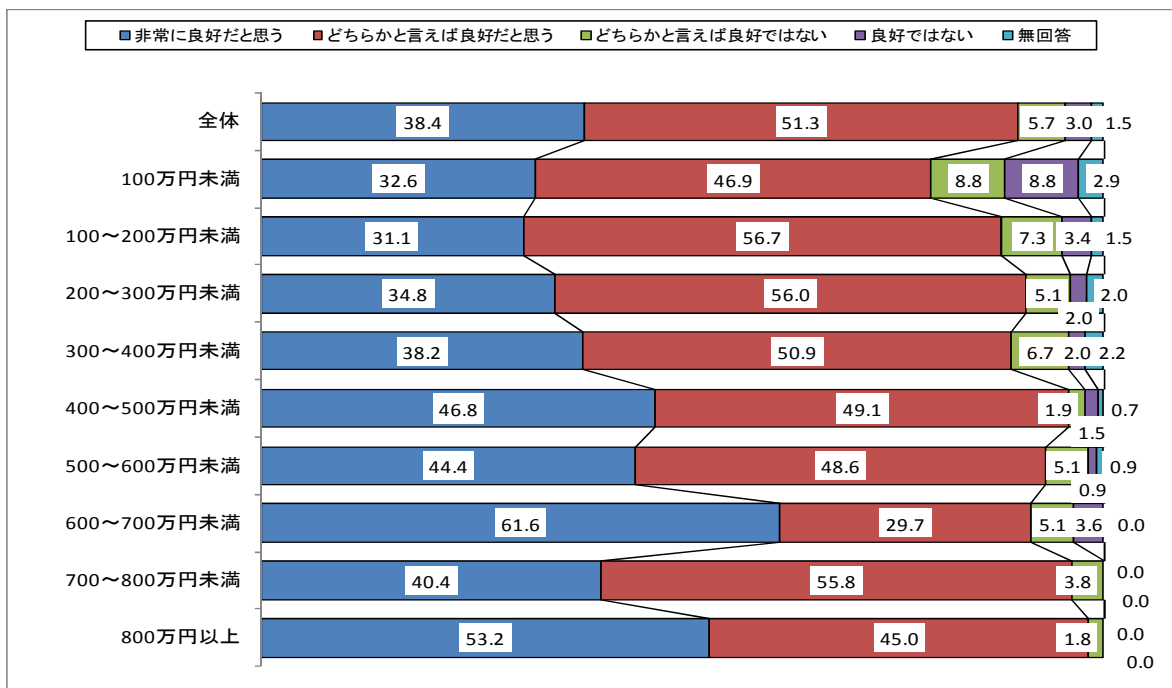


図 1-1-8-5 年収別 問 1-8



(9) 健康状態 (問 1-9)

健康と思うかについて、「大変健康である」(24.0%)「まあまあ健康である」(58.9%)と答えた人の合計は約83%であるのに対し、健康に不安をかかえている人の合計は約16%である。

年代別で見ると、若い世代で健康だと答えた人が多く、逆に中高年層で不安を持つ人が多い。年収別で見ると、100万円未満において「あまり健康ではない」「健康ではない」と答えた人の割合が特に高くなっている。

全体的に見ると、県民の8割余りが健康だと感じている。

図 1-1-9-1 問 1-9 健康状態

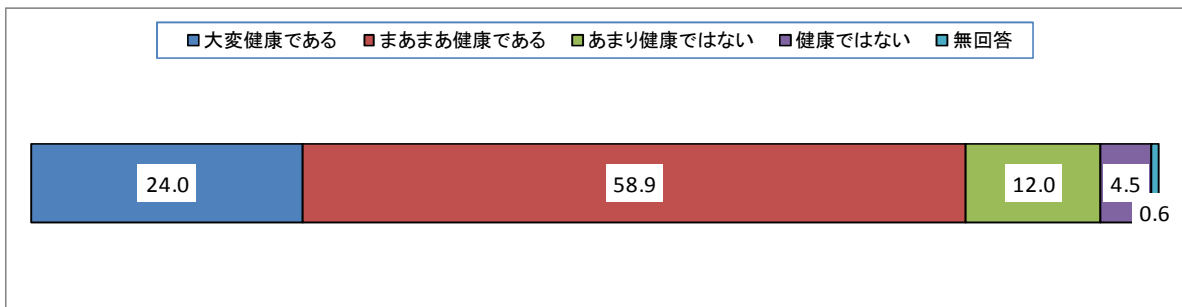


図 1-1-9-2 地域別 問 1-9

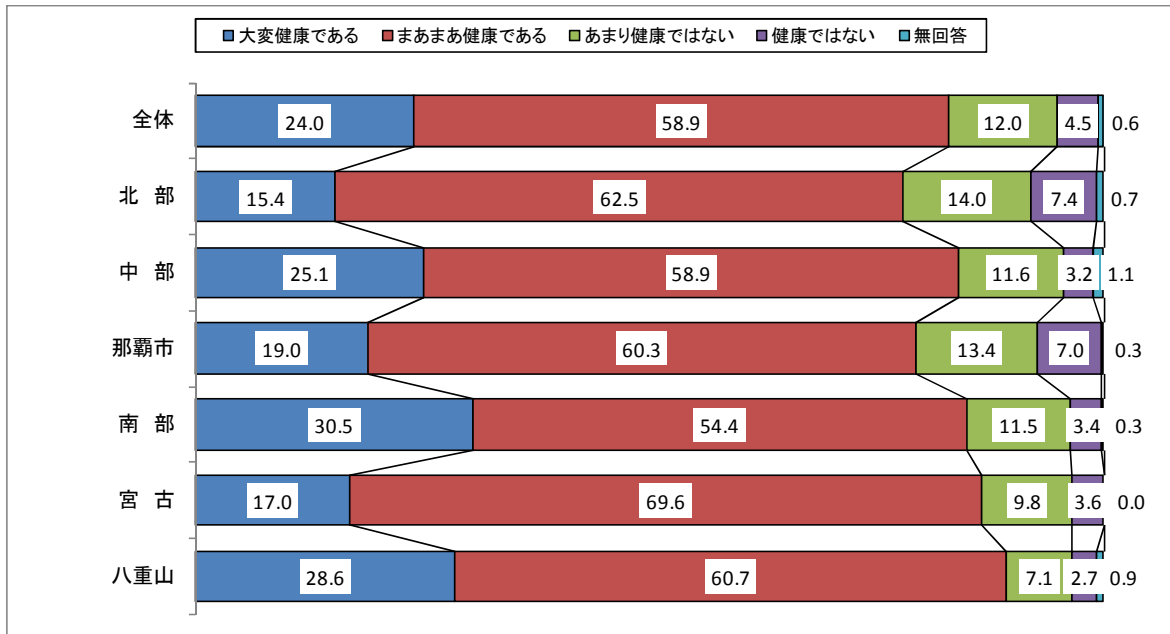


図 1-1-9-3 年代別 問 1-9

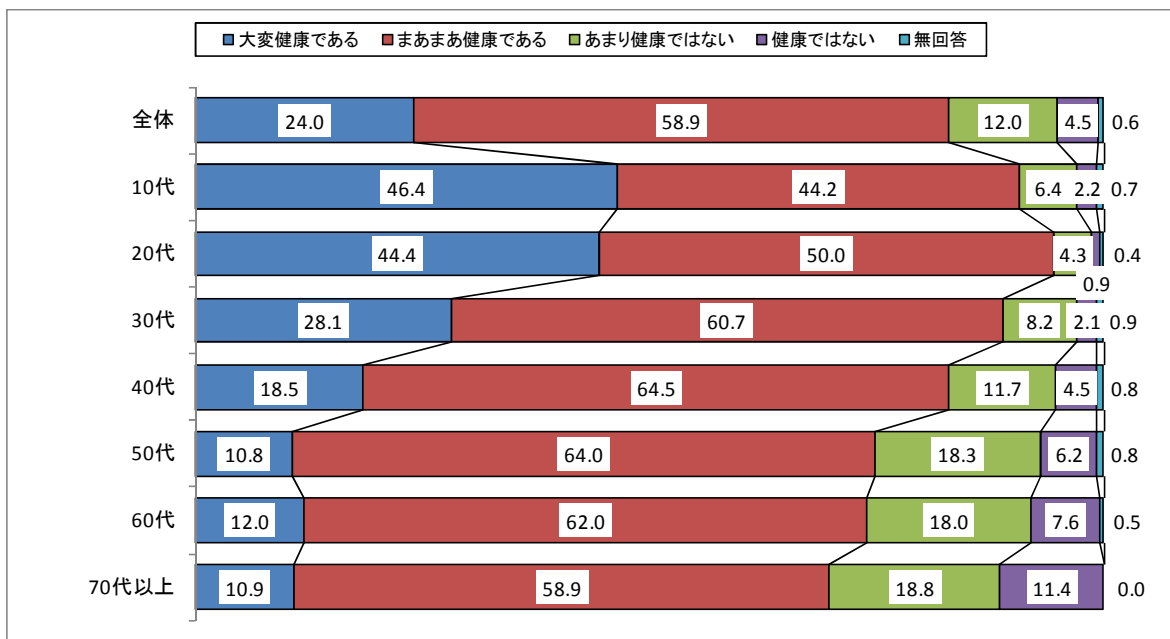


図 1-1-9-4 性別 問 1-9

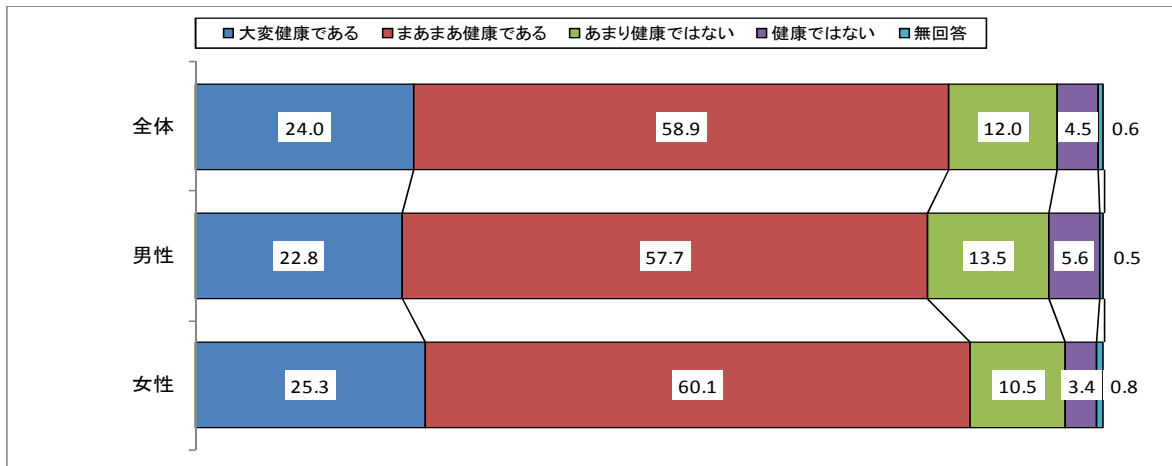
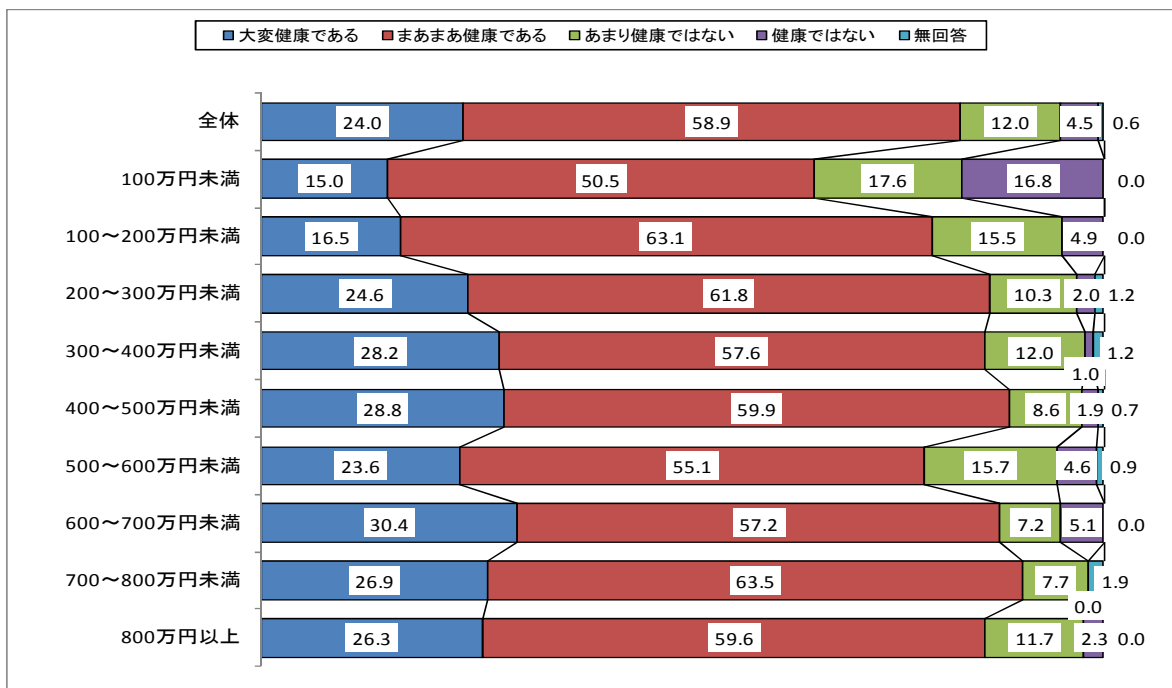


図 1-1-9-5 年収別 問 1-9



(10) 住まいへの満足度 (問 1-10)

現在の住まいは生活していくうえで十分だと思うかについて、「十分だと思う」(37.7%)「まあまあ十分だと思う」(36.7%)と答えた人の合計は約 74%であるのに対し、「やや不十分」「不十分」と思う人は約 25%である。

地域別・年代別・性別で見ても大きな違いはないが、「十分だと思う」と答えた人は八重山が最も高く、「不十分だと思う」と答えた人は那覇市が最も高い。年収別で見ると、年収が高くなるほど住まいへの満足度は高くなっているといえる。年収 100 万円未満においては、「やや不十分だと思う」と「不十分だと思う」人が約 43%に達している。

全体的に見ると、県民の 7 割以上が現在の住まいに満足している。

図 1-1-10-1 問 1-10 住まいへの満足度

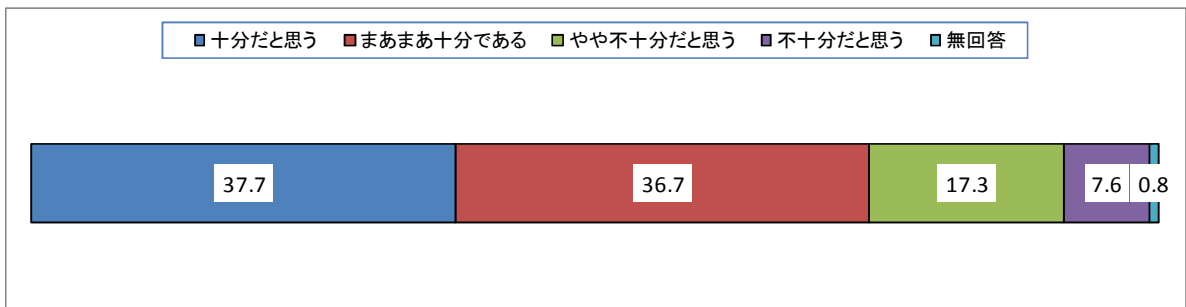


図 1-1-10-2 地域別 問 1-10

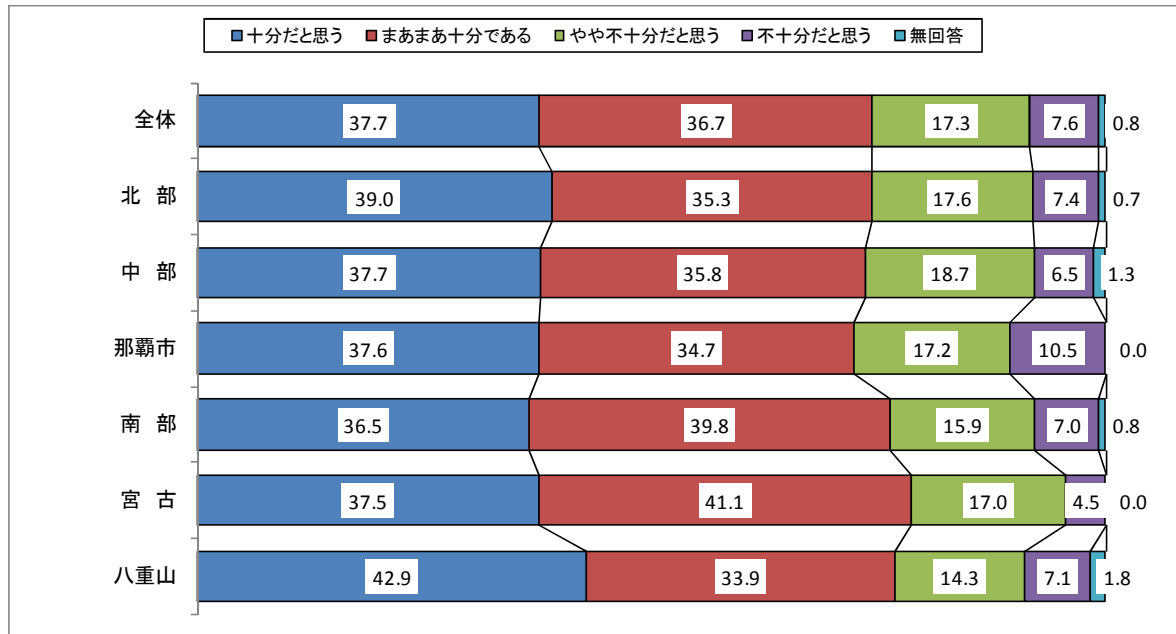


図 1-1-10-3 年代別 問 1-10

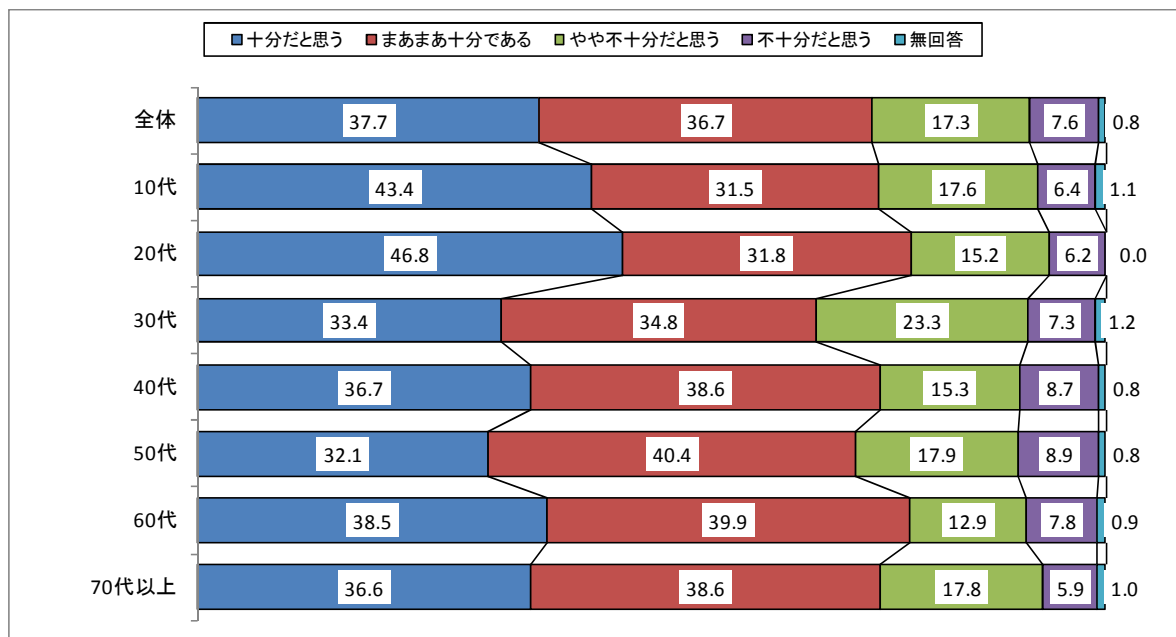




図 1-1-10-4 性別 問 1-10

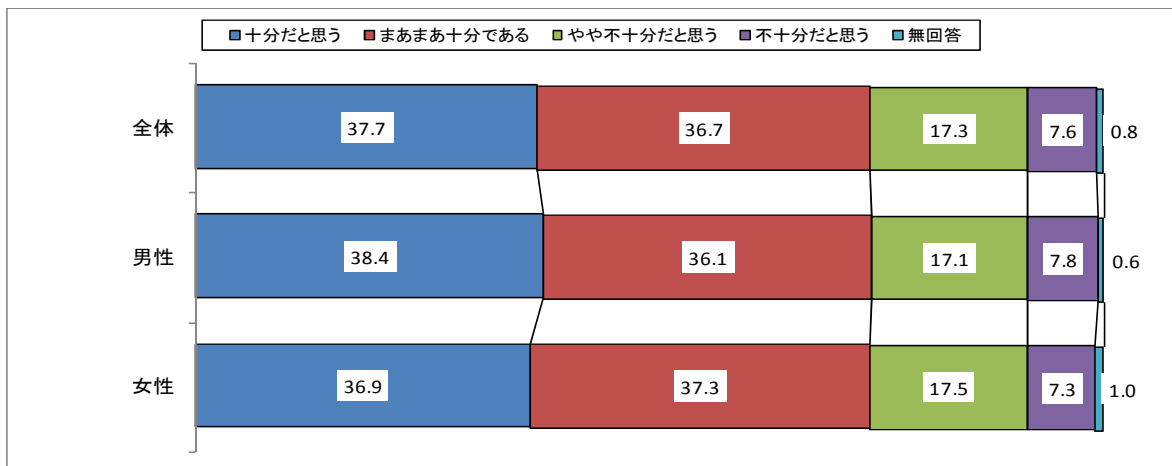
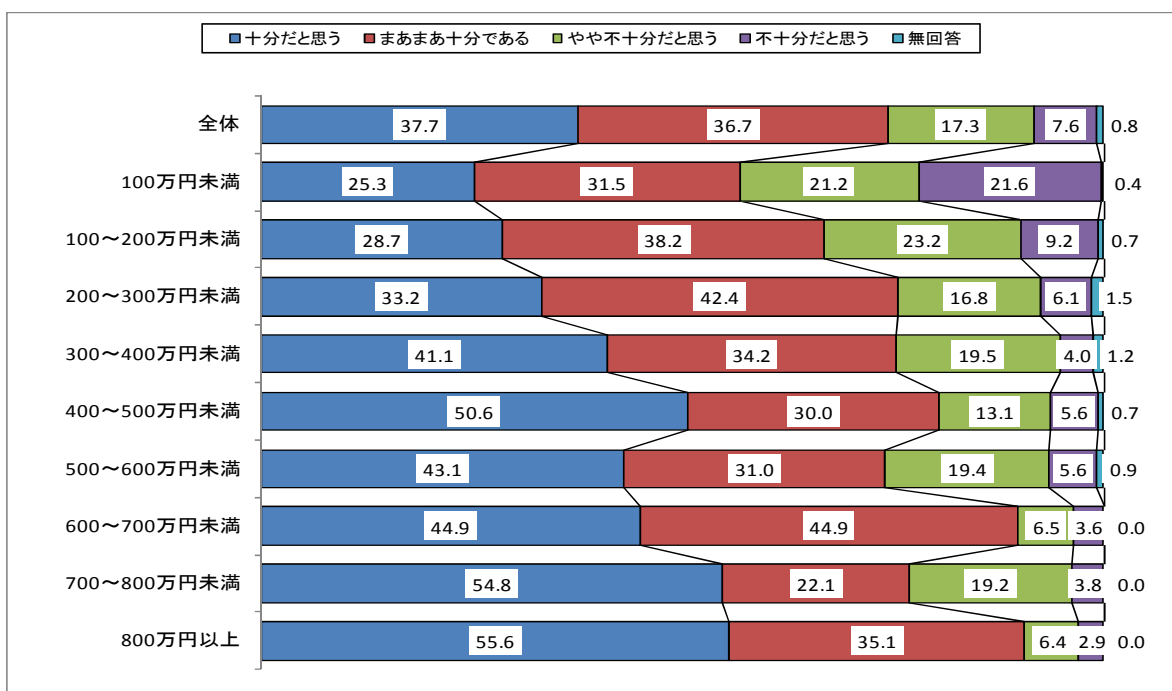


図 1-1-10-5 年収別 問 1-10



(11) 生きがい (問 1-11)

生きがいに行っていることがあるかについて、「大いにある」(28.8%)「少しある」(40.9%)と答えた人の合計が約70%であるのに対し、「ほとんどない」(6.7%)「まったくない」(2.6%)と答えた人の合計は約9%である。

地域別・年代別・性別で見ても大差はない。強いて言えば、「大いにある」と答えた人は70代以上で最も高く、「まったくない」と答えた人は10代で最も高い。年収別で見ると、500万円未満までは、100～200万円未満を除けば、年収が多くなるほど生きがいを持つ。500万円以上では、800万円未満まで減少の傾向が見られる。

全体的に見ると、県民の約7割は生きがいに行っていることを持っており、約1割は持っていない。

図 1-1-11-1 問 1-11 生きがい

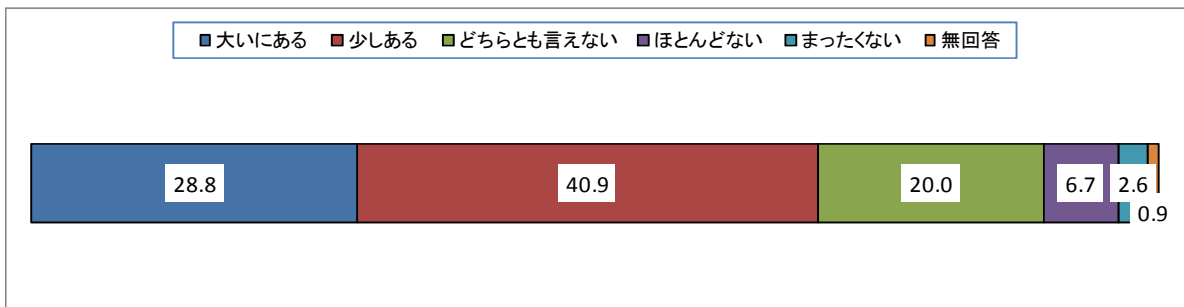


図 1-1-11-2 地域別 問 1-11

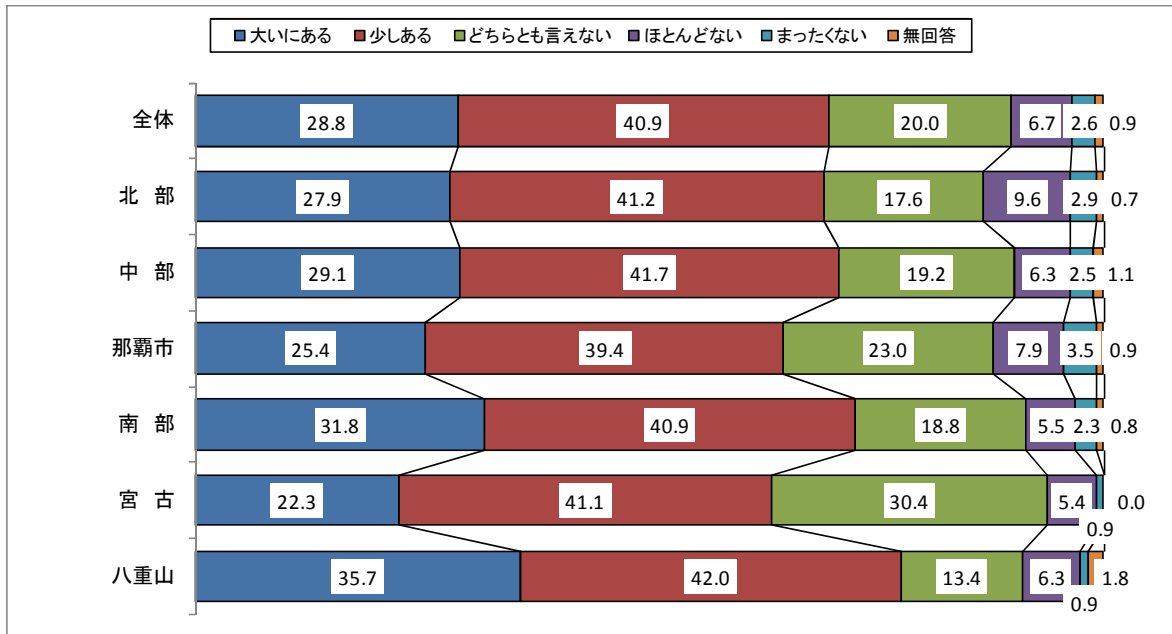


図 1-1-11-3 年代別 問 1-11

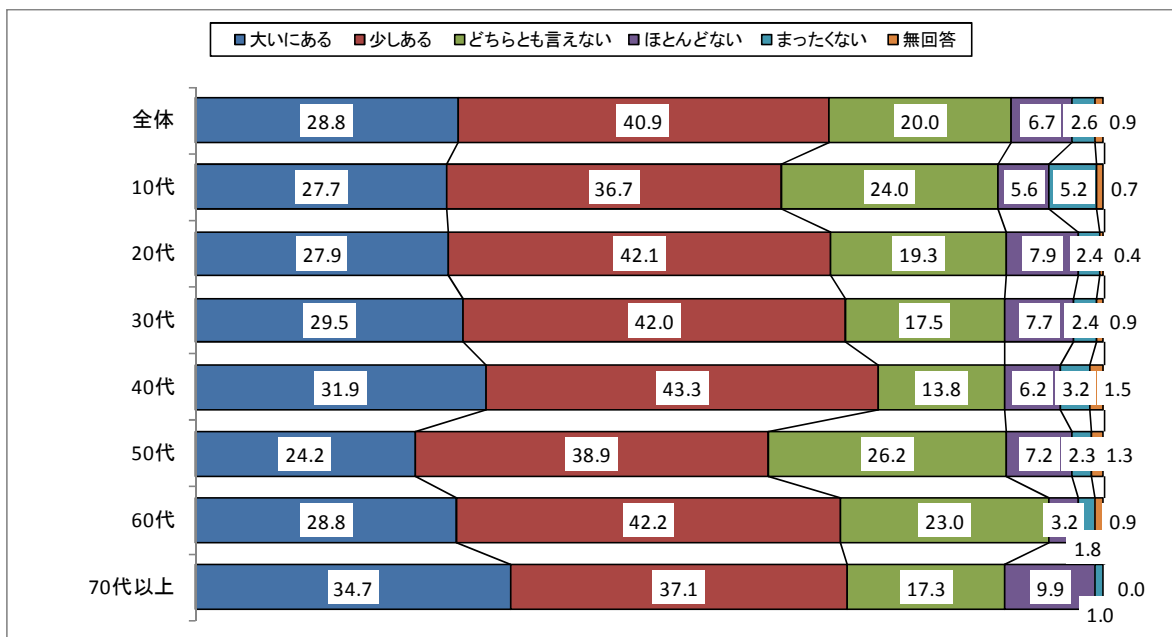


図 1-1-11-4 性別 問 1-11

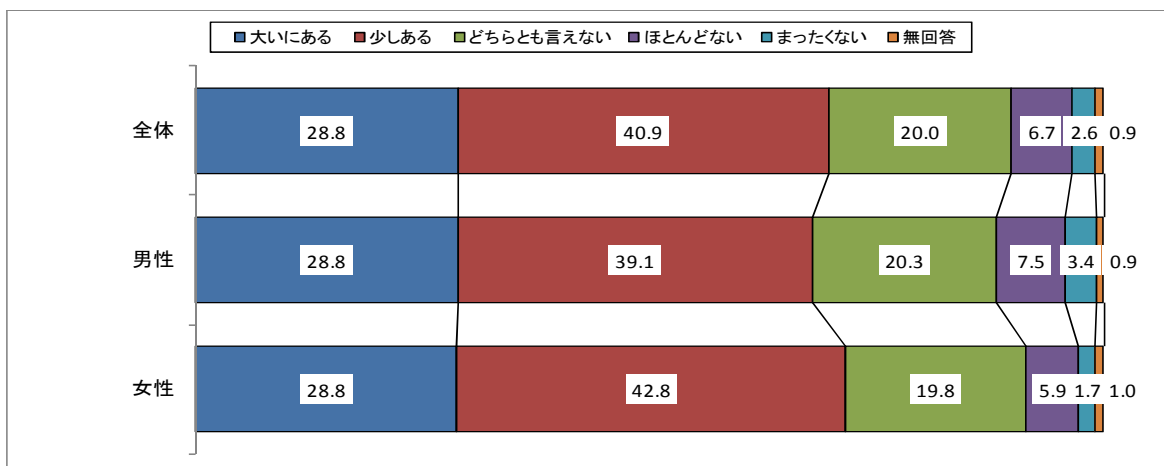
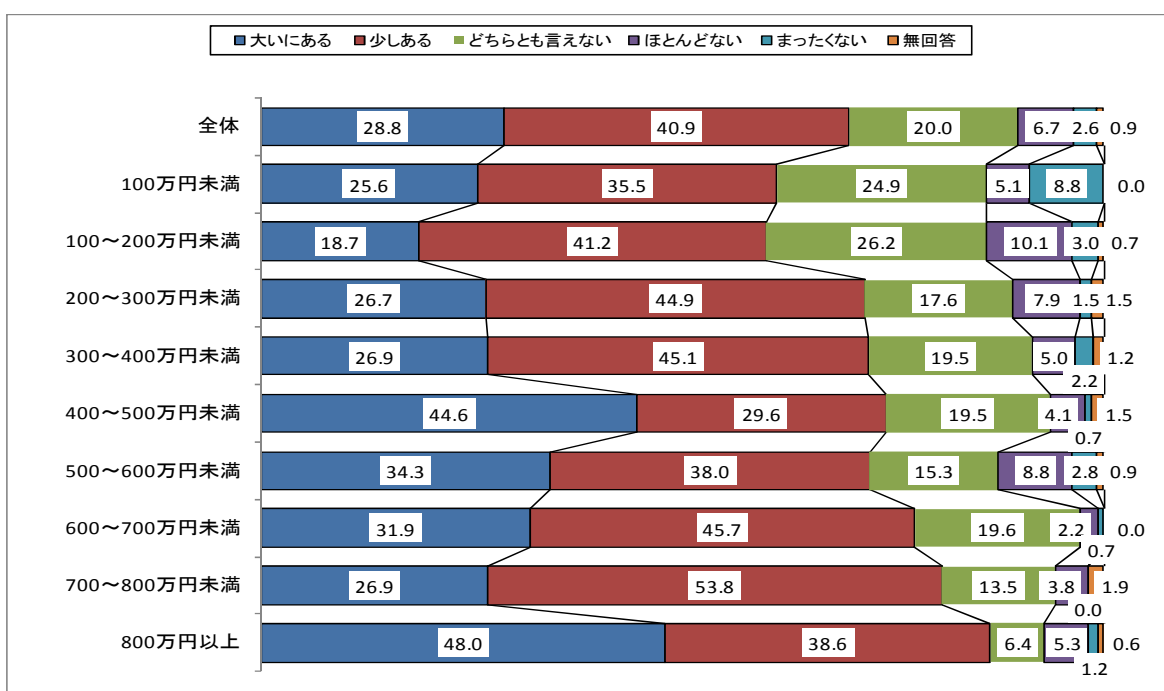


図 1-1-11-5 年収別 問 1-11



## 2. 自己及び社会に対する意識（問1）

### (1) 社会に対する満足度（問1-12）

現在の社会に満足しているかについて、「満足している」（2.5%）のはごく僅かであり、「どちらかと言えば満足している」（20.7%）を加えても23.2%に過ぎない。これに対し、「どちらかと言えば満足していない」（39.7%）「満足していない」（25.2%）と答えた人が約65%に上る。

地域別で見ると、「満足」「どちらかと言えば満足」の合計が最も高いのは宮古（31.3%）で、最も低いのは那覇市（22.1%）である。年代別で大差はないが、性別では「満足している」人が男性のほうでやや高い。年収別で見ると、年収が高くなるほど満足度が高く、逆に少なくなるほど満足度は低くなる傾向が認められる。

全体的に見ると、県民の2割余りは現在の社会に満足しているが、6割余りは満足していない。

図1-2-1-1 問1-12 社会に対する満足度

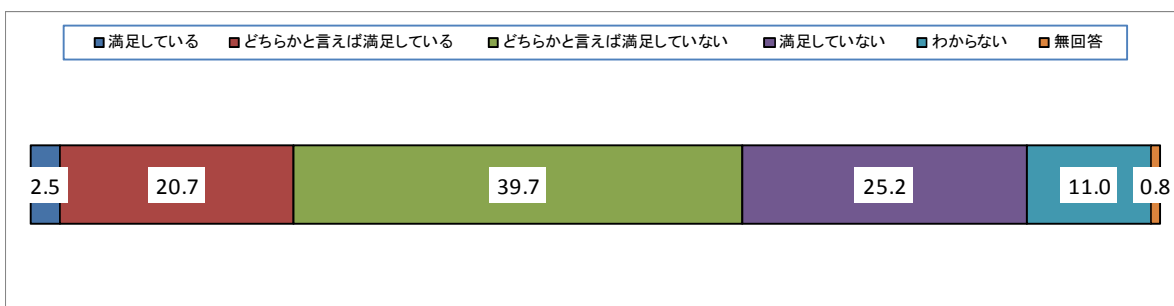


図1-2-1-2 地域別 問1-12

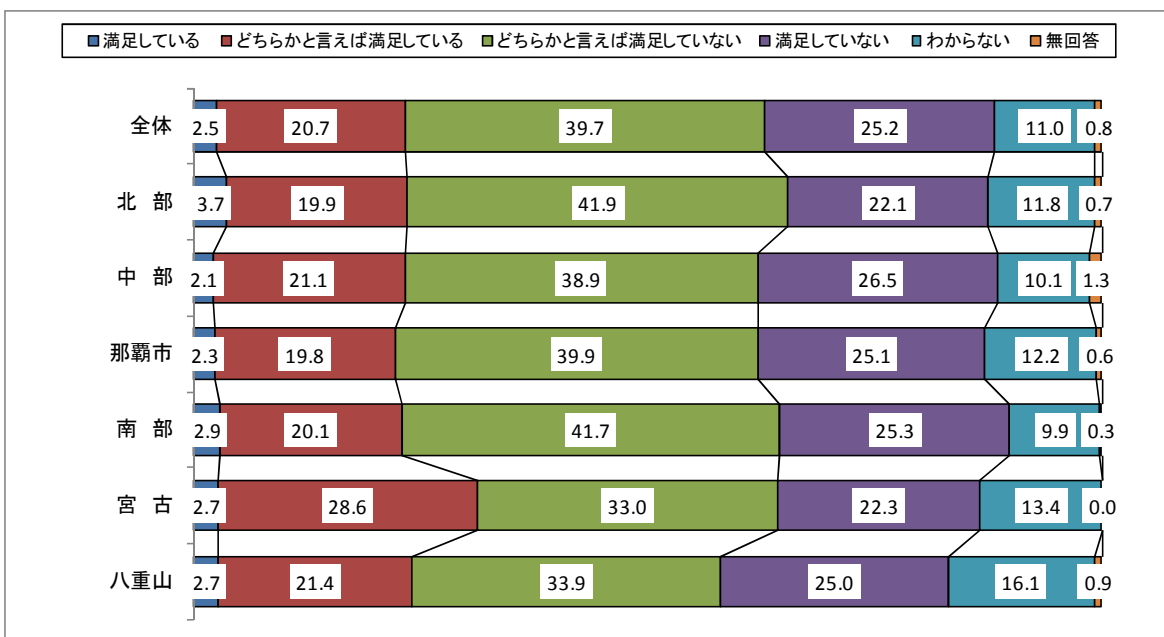


図 1-2-1-3 年代別 問 1-12

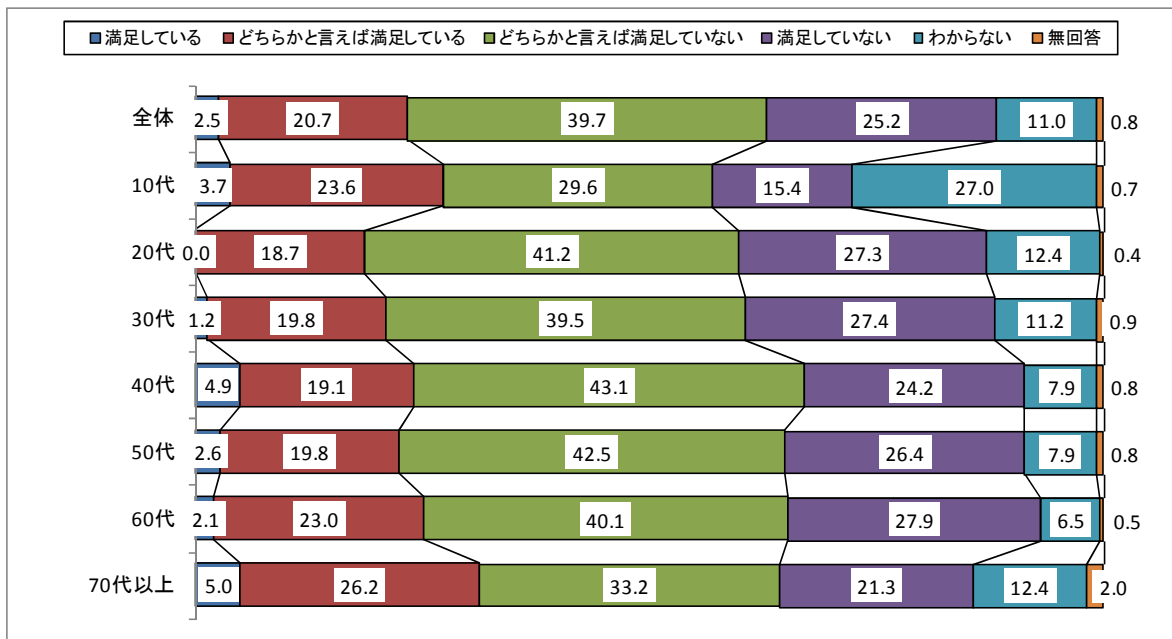


図 1-2-1-4 性別 問 1-12

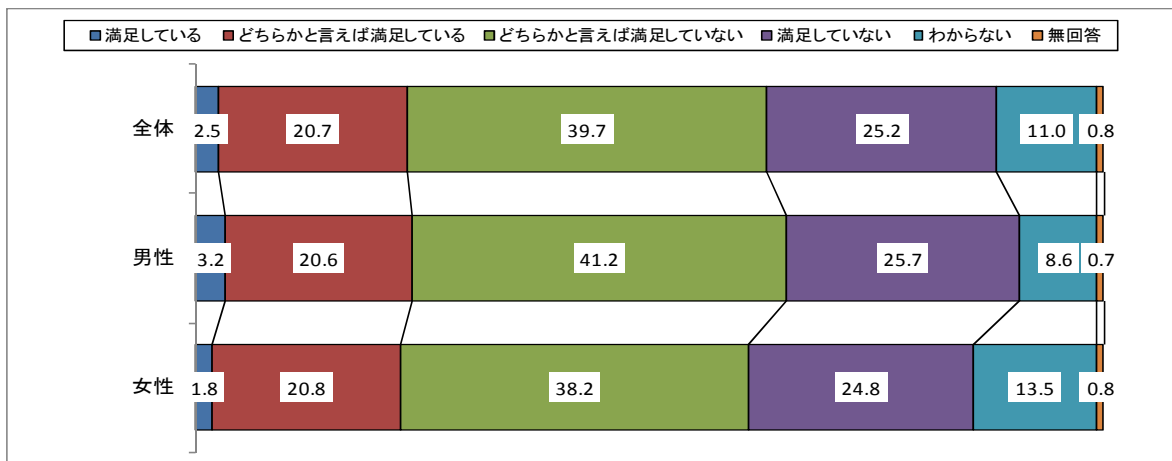
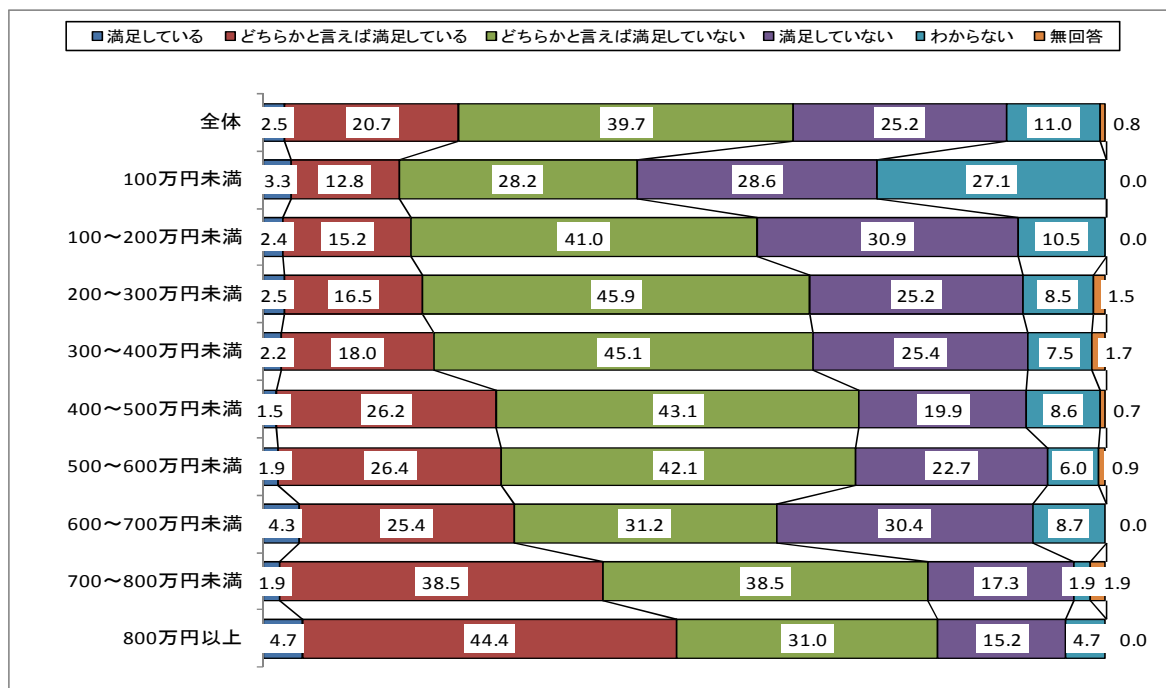


図 1-2-1-5 年収別 問 1-12



(2) 県民間の経済格差 (問 1-13)

10 年前の沖縄に比べて県民間の経済格差は縮まったと思うかについて、「変わらないと思う」(32.8%)と「広がったと思う」(33.4%)が拮抗しており、「わからない」(28.1%)と答えた人も多い。

地域別で見ると、「縮まったと思う」人の割合は八重山(9.8%)で最も高く、中部(3.8%)で最も低い。逆に「広がったと思う」人は南部(35.7%)で最も高く、宮古(20.5%)で最も低い。年代別では、「縮まったと思う」人は70代以上・60代に多く、「広がったと思う」人は10代・20代で少ない。性別では、「縮まった」「広がった」ともに男性のほうが女性よりやや高い。年収別で見ると、年収が低くなるにしたがって、「わからない」と答える人が多い。

全体的に見ると、県民格差が広がったと思う人、変わらないと思う人、判断しかねると思う人がそれぞれ約3割を占めている。

図 1-2-2-1 問 1-13 県民間の経済格差

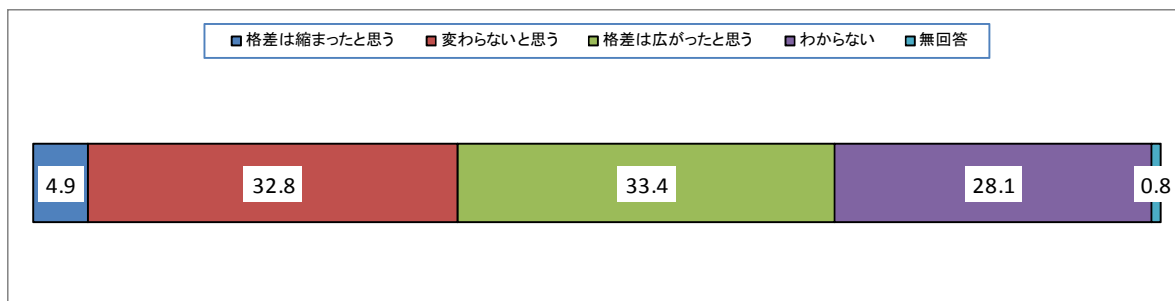


図 1-2-2-2 地域別 問 1-13

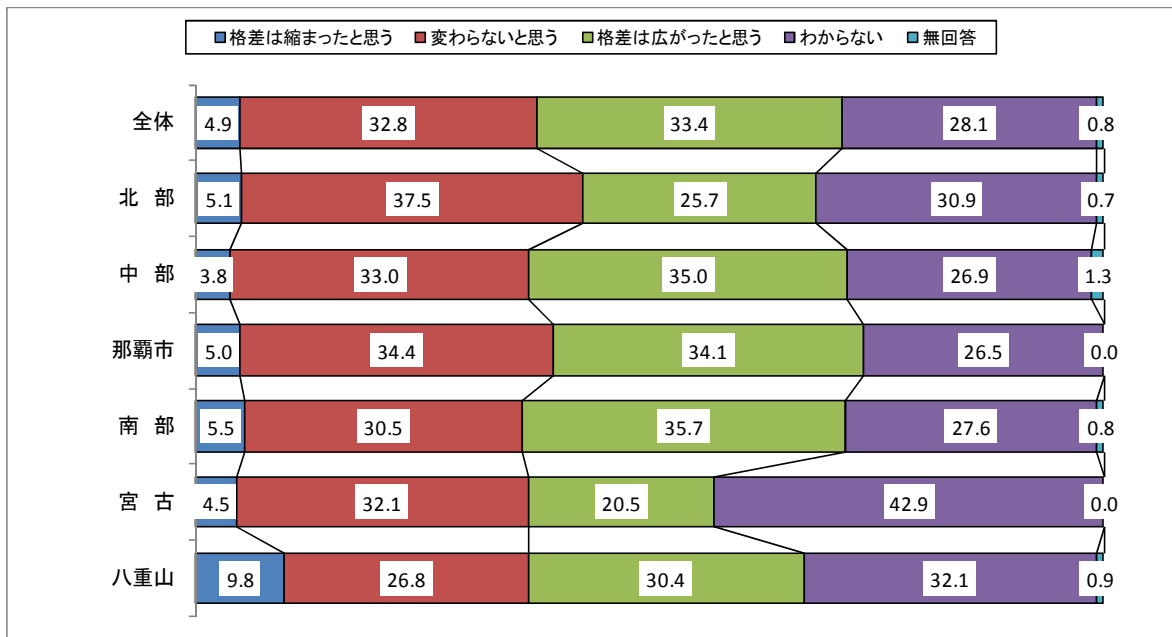


図 1-2-2-3 年代別 問 1-13

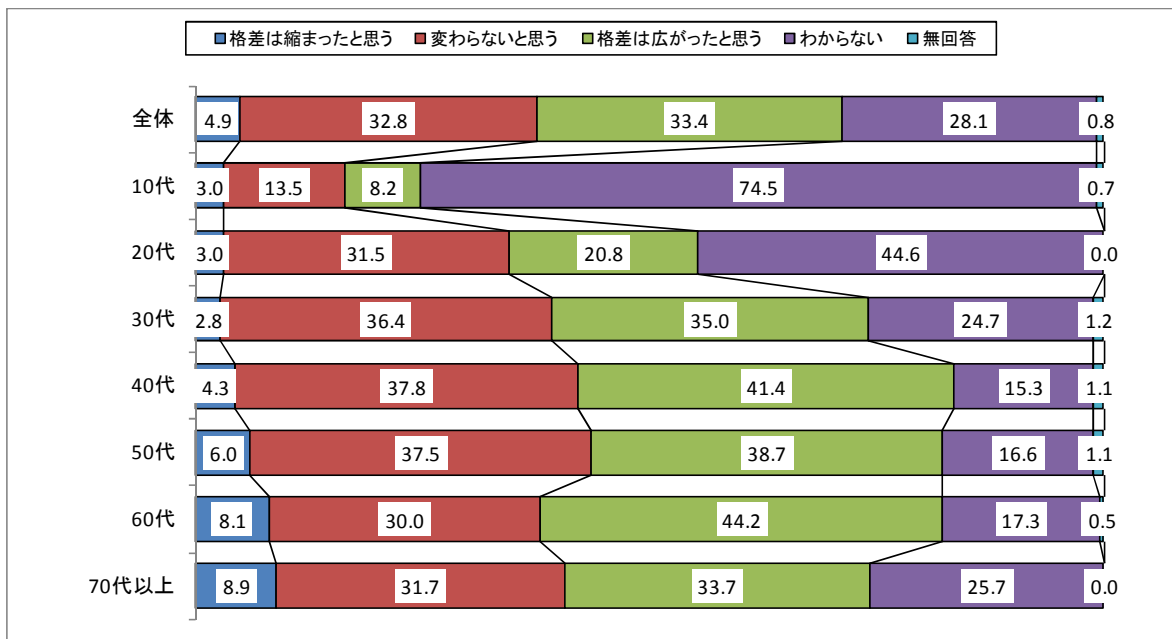


図 1-2-2-4 性別 問 1-13

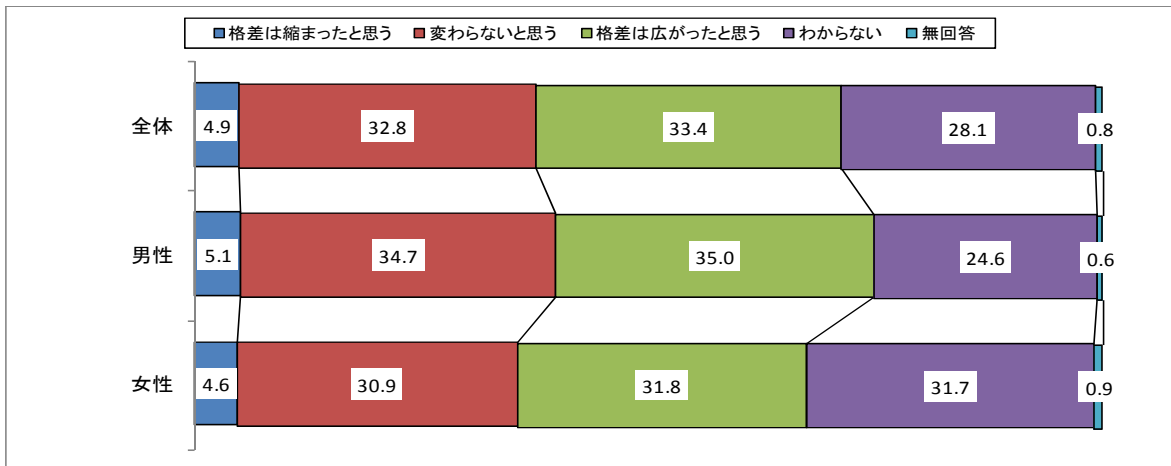
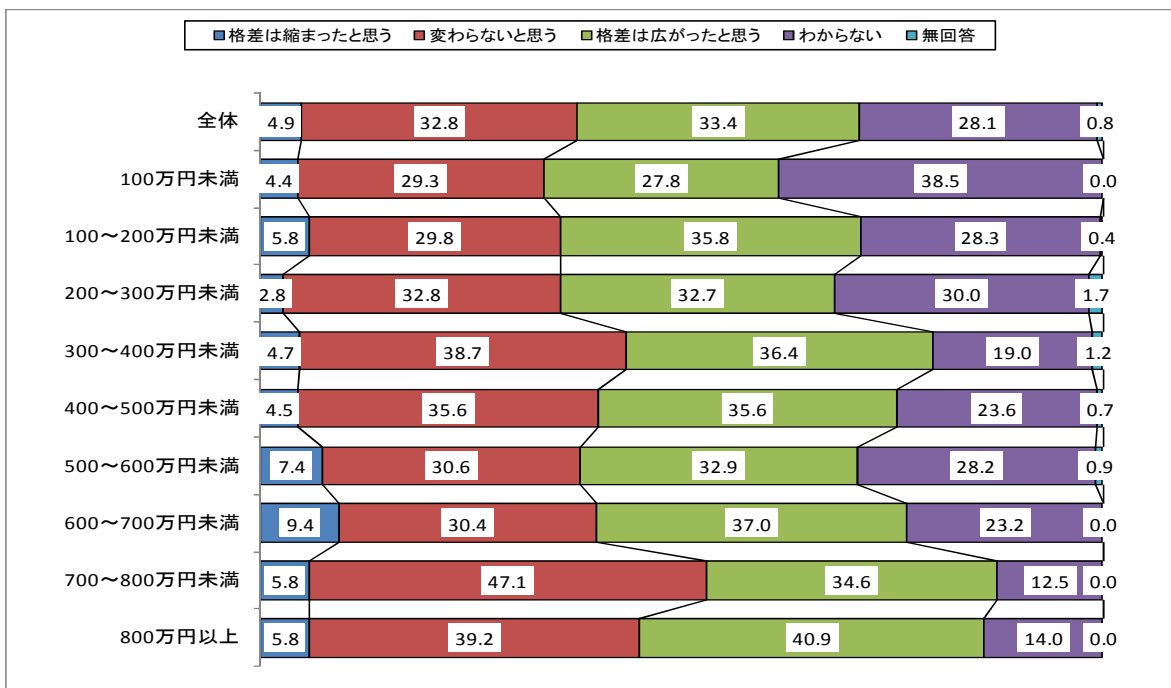


図 1-2-2-5 年収別 問 1-13



(3) 沖縄県に誇りを感じるか (問 1-14)

沖縄県に誇りを感じるかについて、「誇りを強く感じている」(28.7%)「どちらかと言えば誇りを感じている」(54.7%)と答えた人が8割を超えている。「誇りを感じていない」(4.6%)人はごく少数であり、「どちらかと言えば誇りを感じていない」(10.8%)を加えても約15%に過ぎない。

「強く感じている」と思う人は、地域別で見ると宮古や八重山でやや低く、年代別では10代・20代でやや高い。性別では男性のほうがやや高い。年収別で見ると、誇りを感じていない人は100万円未満層に多い。

全体的に見ると、県民の8割余りが沖縄に対する誇りを感じている。



図 1-2-3-1 問 1-14 沖縄県に誇りを感じるか

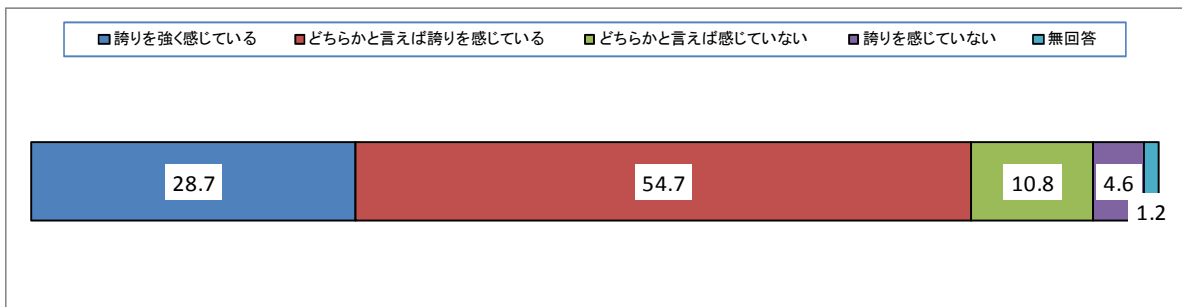


図 1-2-3-2 地域別 問 1-14

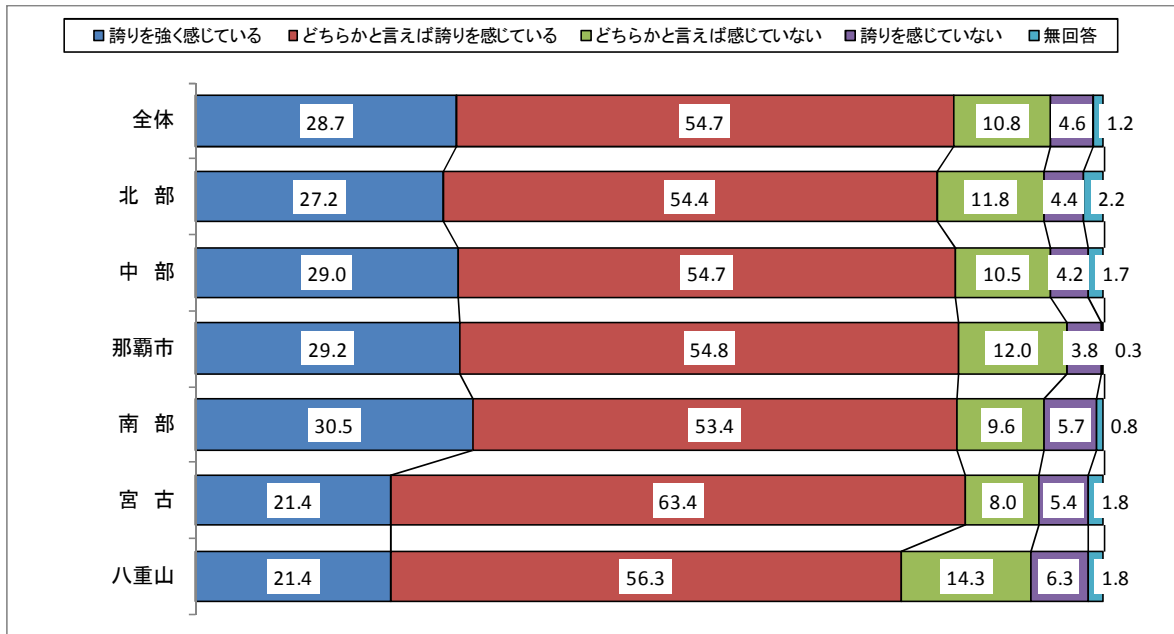


図 1-2-3-3 年代別 問 1-14

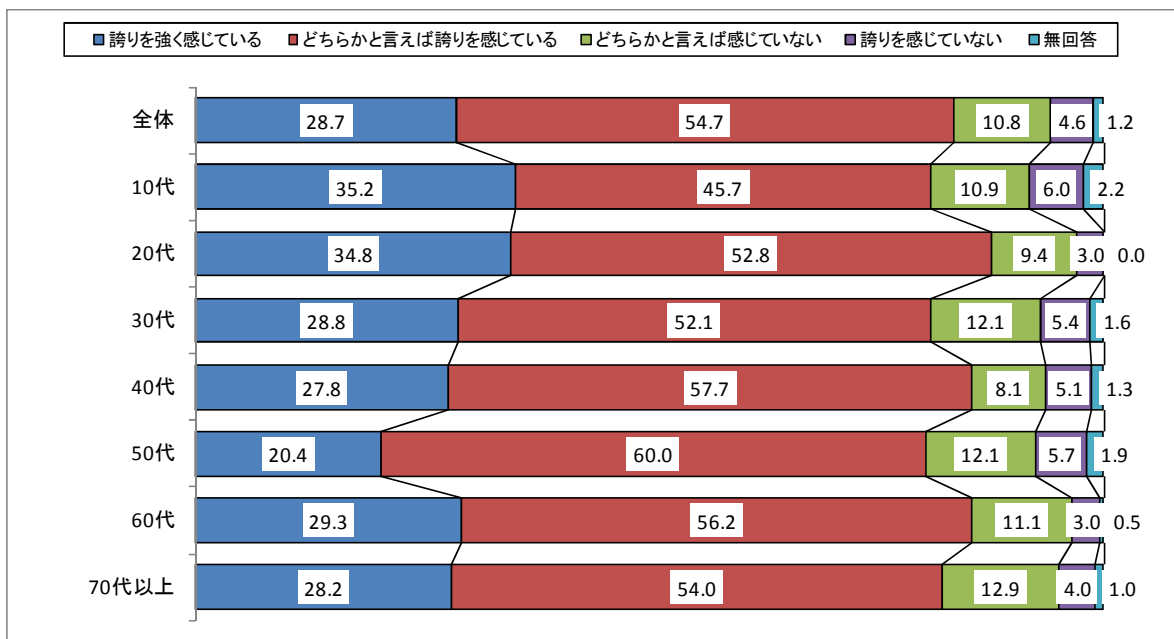


図 1-2-3-4 性別 問 1-14

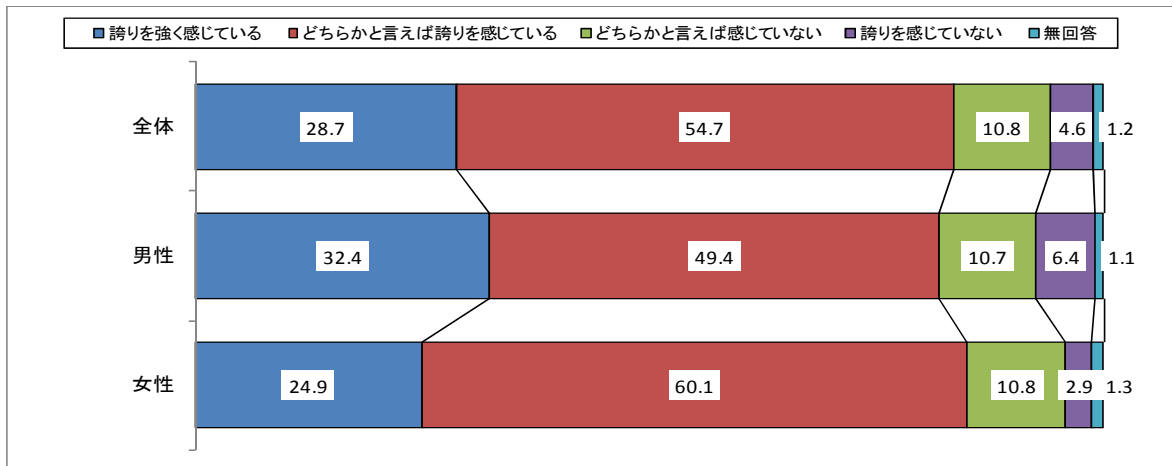
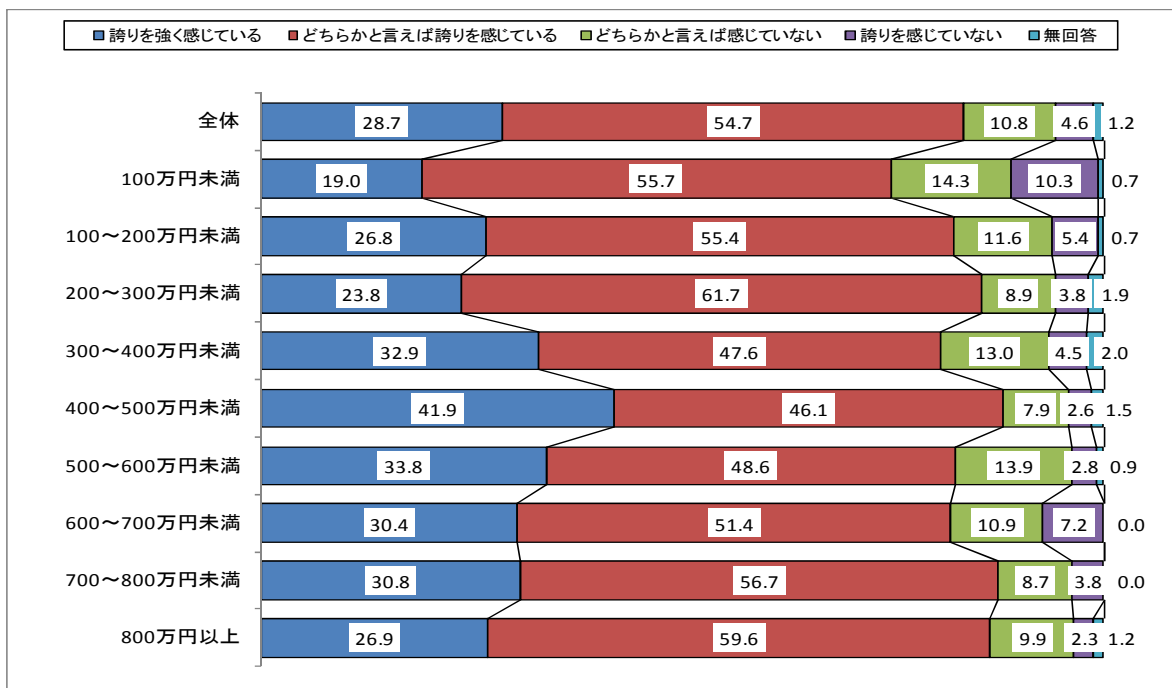


図 1-2-3-5 年収別 問 1-14



(4) 沖縄県に生まれてよかったと思うか (問 1-15)

沖縄県に生まれ、あるいは生活できてよかったと思うかについて、「非常によかったと思う」と答えた人は 45.4%であった。これに「まあまあよかったと思う」(39.6%)を加えると、85%の人が沖縄に生まれ、あるいは生活していることによかったと思っていることがわかる。逆に、「どちらとも言えない」(11.4%)「あまりよかったとは思わない」(1.9%)「よかったとは思わない」(1.1%)の合計は約 14%となっている。

「非常によかった」と答えた人を地域別で見ると、中部(49.0%)が最も高く北部(36.0%)が最も低い。年代別では 20代(58.2%)が最も高く、70代以上(27.2%)が最も低い。性別では、女性のほうが男性より 3.6ポイント高い。年収別では大きな差はない。

全体的に見ると、8割強の県民は沖縄に生まれ、あるいは生活できていることをよかったと思っている。

図 1-2-4-1 問 1-15 沖縄県に生まれてよかったと思うか

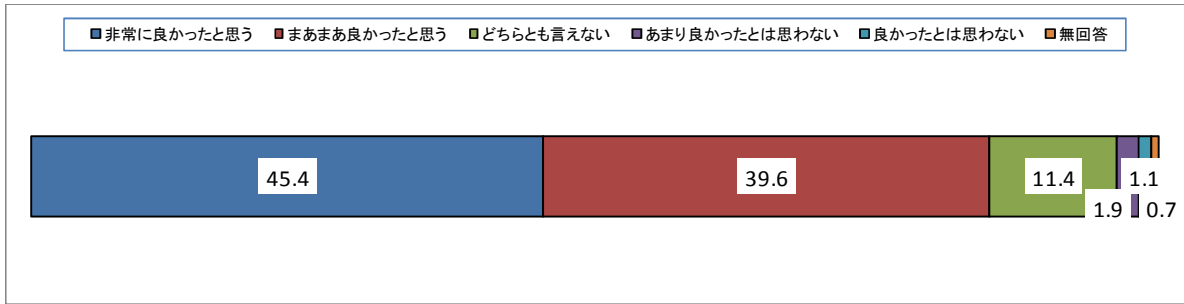


図 1-2-4-2 地域別 問 1-15

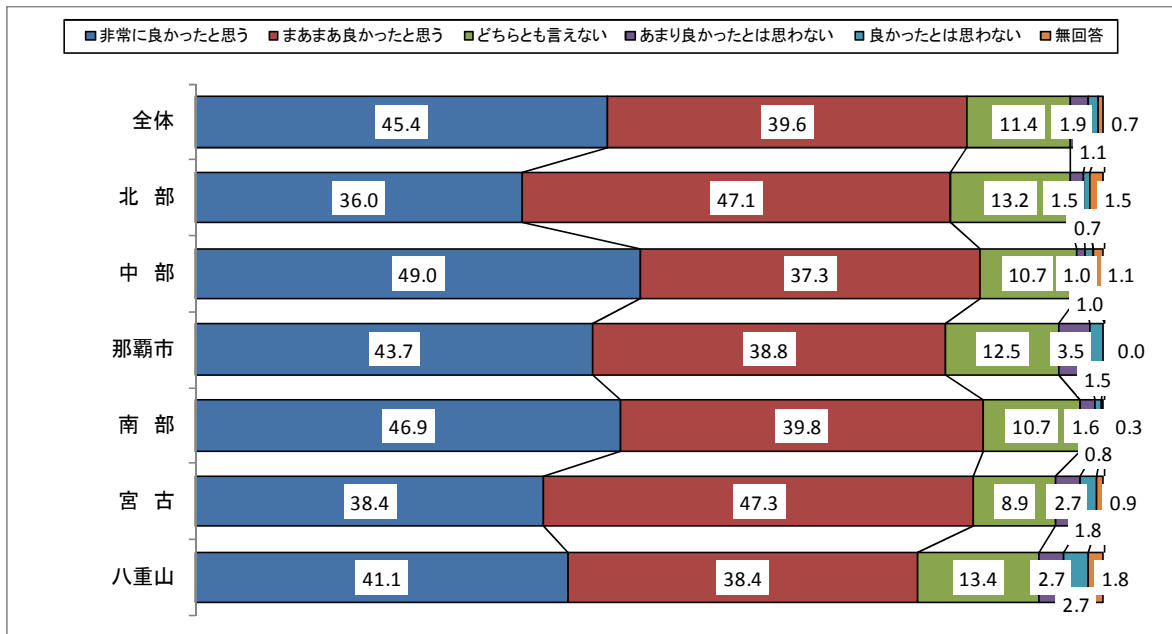


図 1-2-4-3 年代別 問 1-15

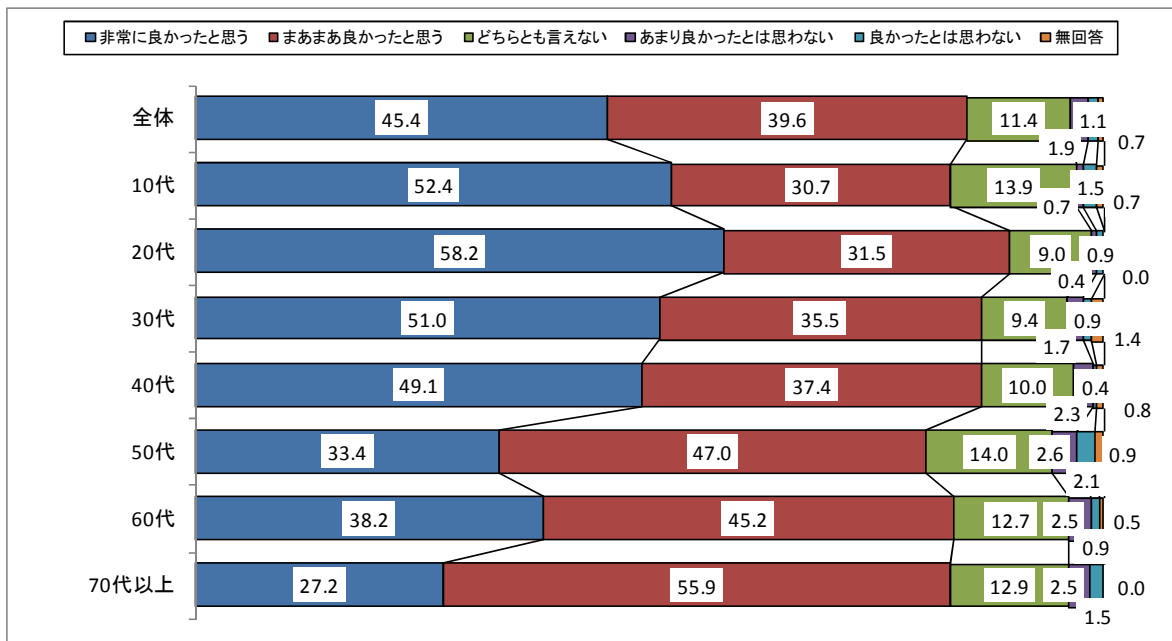


図 1-2-4-4 性別 問 1-15

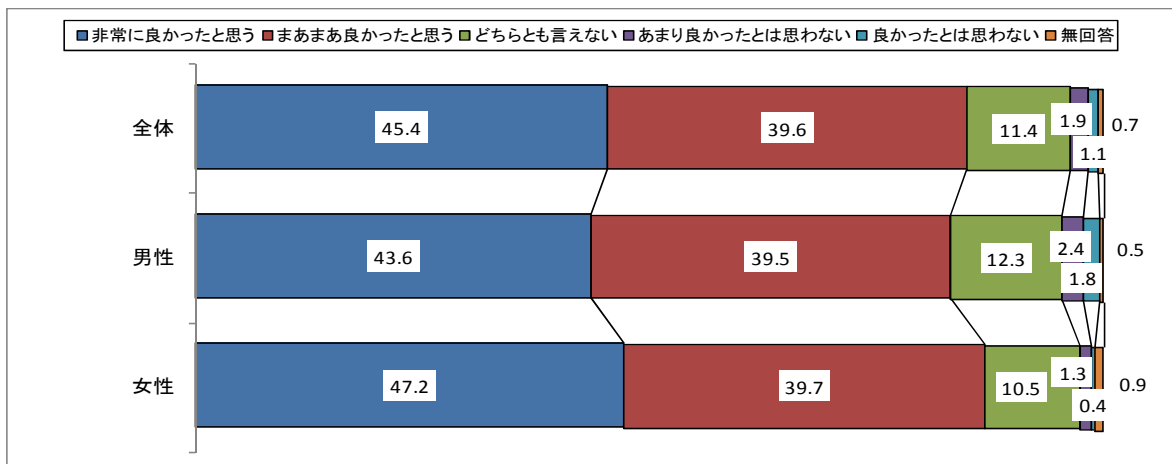
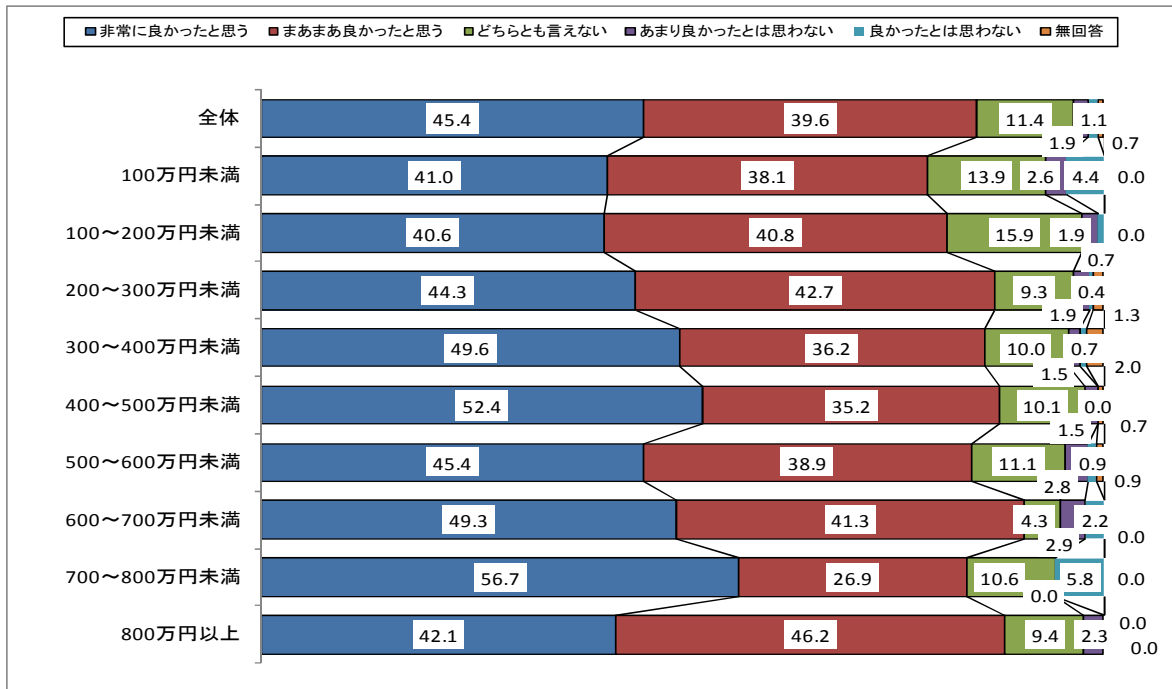


図 1-2-4-5 年収別 問 1-15



(5) 米軍施設への認識 (問 1-16)

沖縄県に米軍専用施設の約 74%が存在していることについて、差別的な状況だと思うかについて、「そう思う」(49.6%)と半数の人が答えている。これに「どちらかと言えばそう思う」(24.3%)を加えると約 74%の人が差別的な状況だと思っている。逆に、「どちらかと言えばそう思わない」(6.7%)「そうは思わない」(8.4%)の合計は約 15%となっている。

差別的な状況だと思う人は、地域別・年代別・性別で見てもほぼ共通して非常に多いが、「そうは思わない」と答えた人が 10～30 代の若い年代で比較的多い。年収別で見ると、「どちらかと言えばそう思わない」「そうは思わない」と答えた人が、500～600 万円未満 (24.1%)と 100 万円未満 (19.0%) でやや多い。

全体的に見ると、7割余りの県民が差別的な状況だと感じている。

図 1-2-5-1 問 1-16 米軍施設への認識

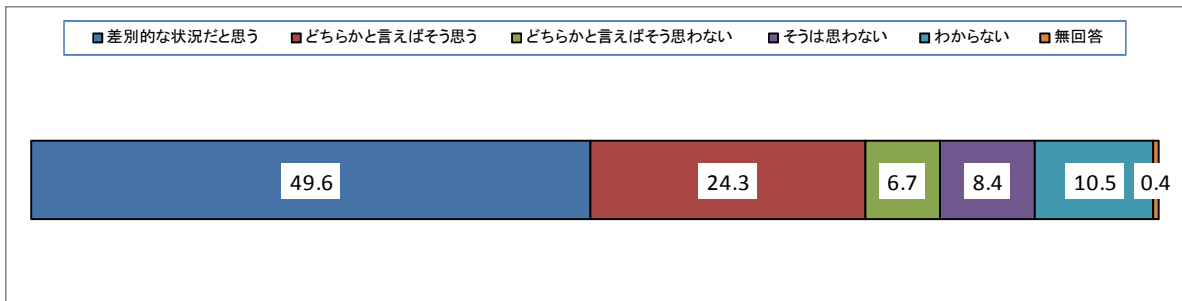


図 1-2-5-2 地域別 問 1-16

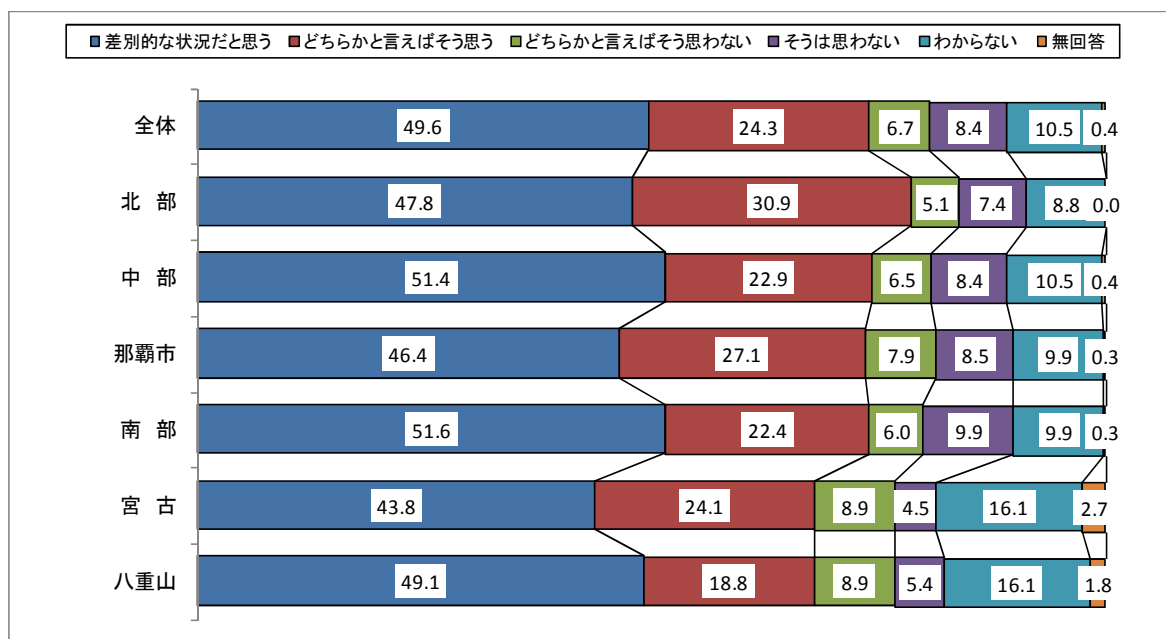


図 1-2-5-3 年代別 問 1-16

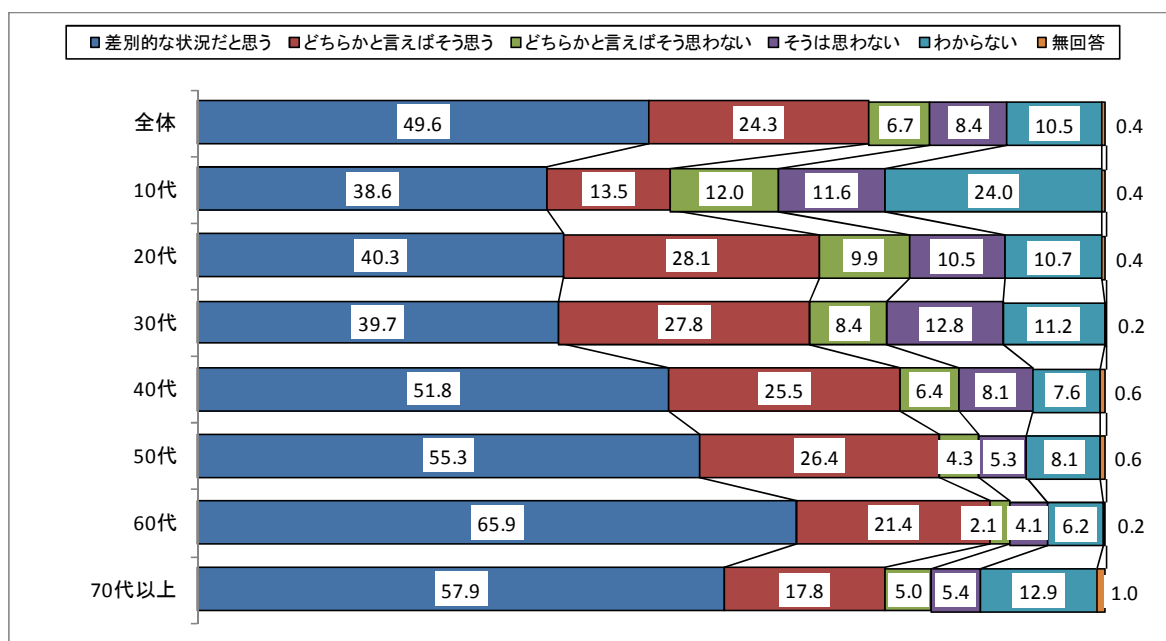


図 1-2-5-4 性別 問 1-16

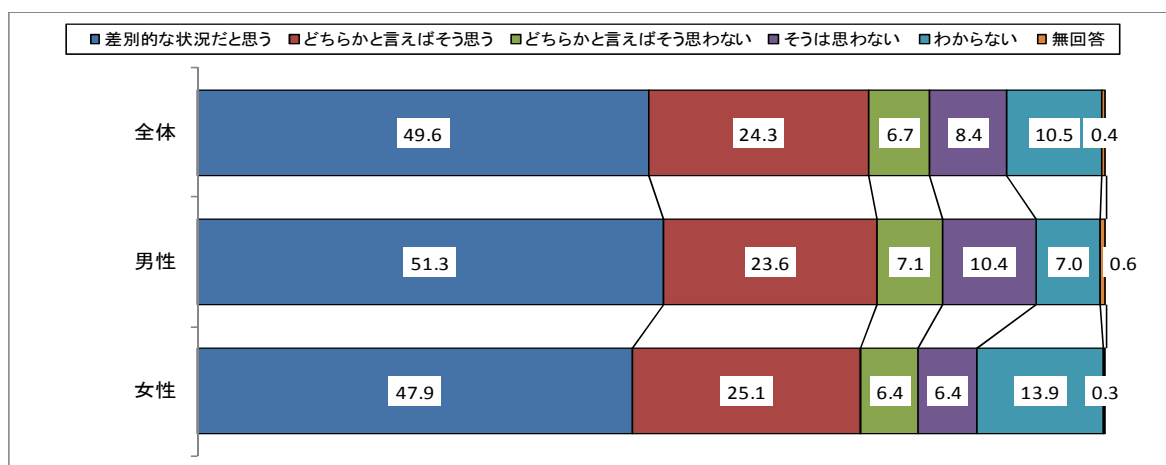
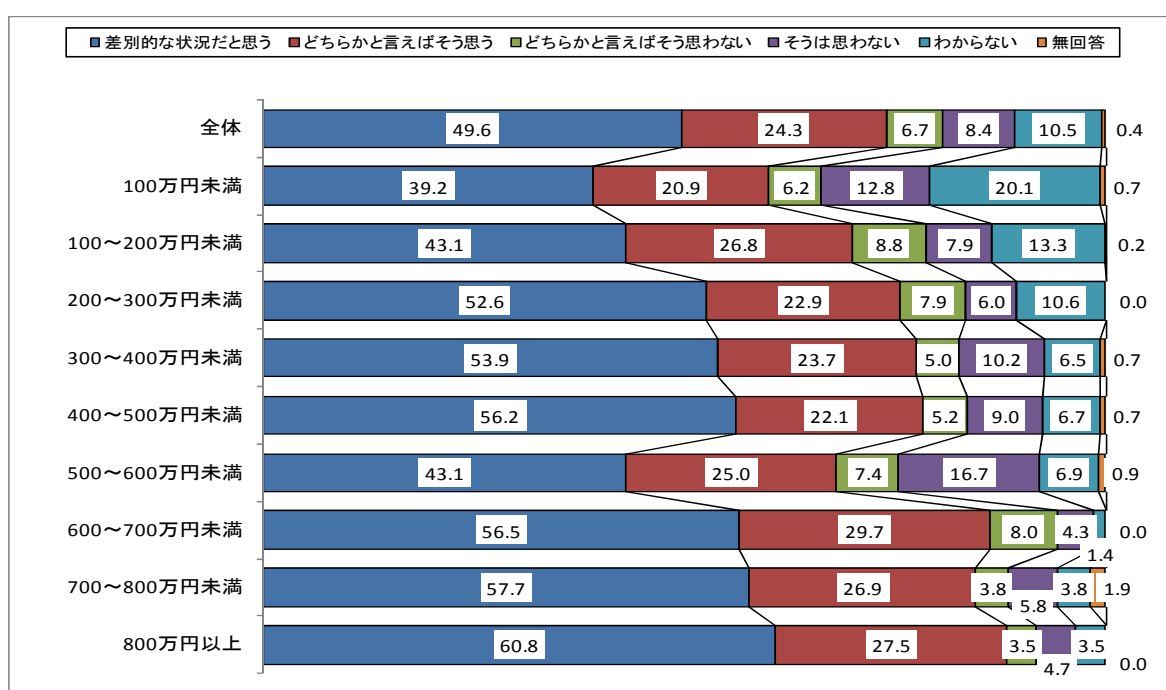


図 1-2-5-5 年収別 問 1-16



(6) 友人・知人の数 (問 1-17)

同年代の人に比べ知人・友人は多いほうか否かについて、「多い方だと思う」(16.0%)と「少ない方だと思う」(17.7%)が拮抗し、「どちらかと言えば多い方だと思う」(31.7%)と「どちらかと言えば少ない方だと思う」(33.5%)も拮抗している。「多い方」「どちらかと言えば多い方」の合計は約48%であり、県民の約半数は多くの友人・知人を多く持っている。

地域別で見ると、「多い方」「どちらかと言えば多い方」の合計が宮古で最も高く(57.2%)、同地域はまた「少ない方だと思う」(8.0%)と答えた人が他の地域に比べて非常に少ない。年収別で見ると、年収が少なくなるにつれて「少ない方だと思う」と答える人が多くなっている。

全体的に見ると、県民の約半数は多くの知人・友人を持っているが、残りの半数はそうではないと感じている。

図 1-2-6-1 問 1-17 友人・知人の数

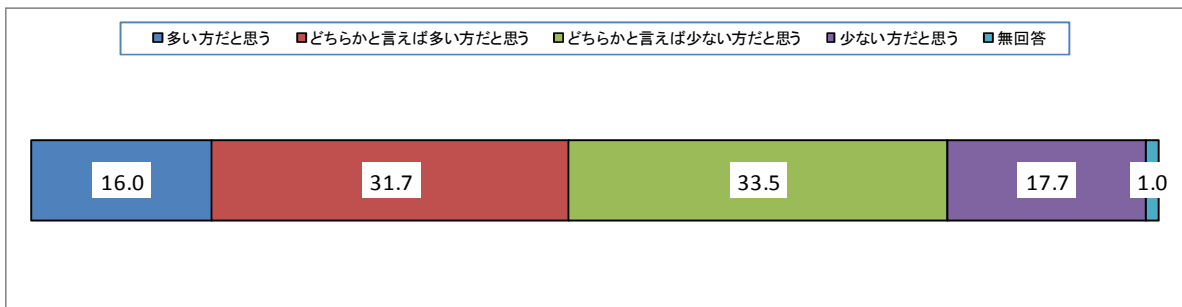


図 1-2-6-2 地域別 問 1-17

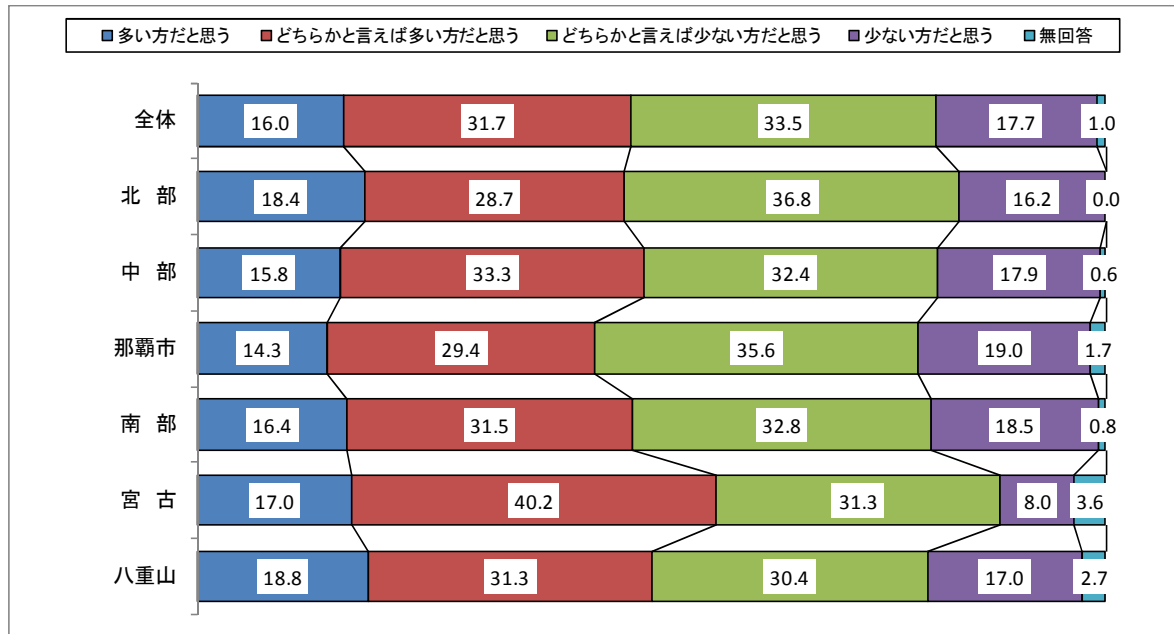


図 1-2-6-3 年代別 問 1-17

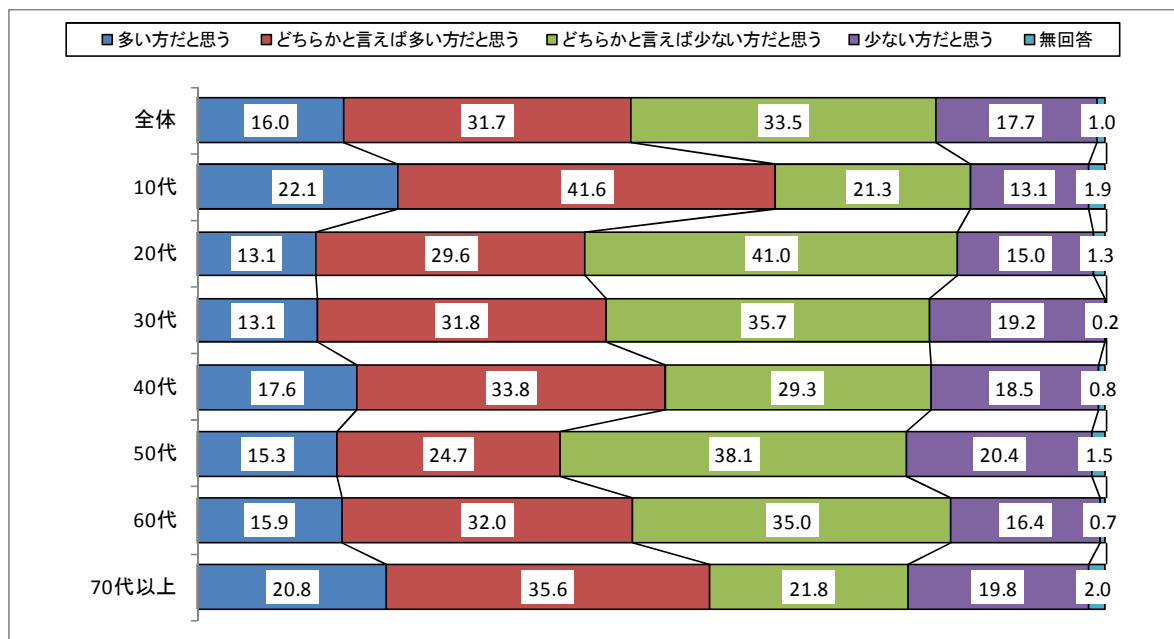




図 1-2-6-4 性別 問 1-17

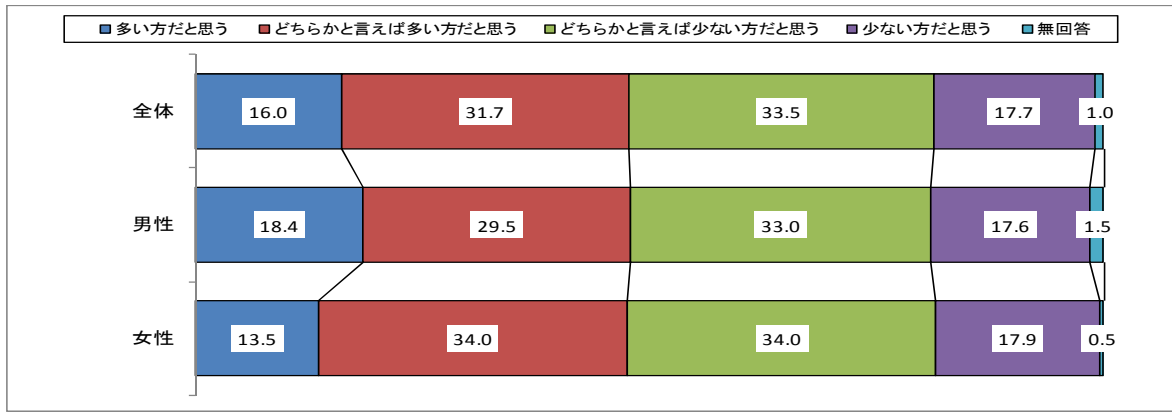
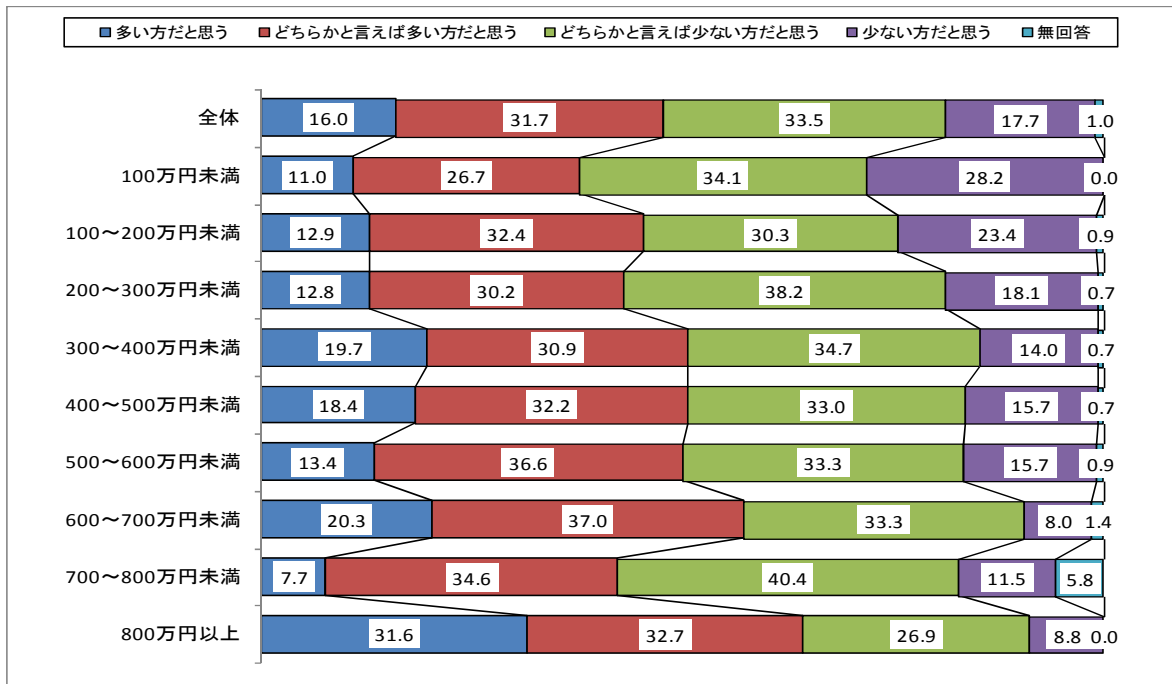


図 1-2-6-5 年収別 問 1-17



(7) イベント・催し物への参加 (問 1-18)

各種のイベントや催し物・会合等に参加しているか否かについて、「積極的に参加している」(10.5%)人は少なく、「ほとんど参加していない」(32.1%)人が目立つ。そして、「どちらかと言えば参加している」(29.5%)と「どちらかと言えば参加していない」(27.3%)がほぼ拮抗している。

「積極的に参加している」人は、地域別で見ると北部・八重山・中部で比較的多く、年代別では60代・70代・40代が多い。「ほとんど参加していない」人は、地域別では那覇市の割合が高く、世代別では10代・50代・20代で比較的高い。年収別で見ると、700～800万円未満を除き年収が少なくなるにつれて「ほとんど参加していない」人が多くなり、100万円未満では約55%が「ほとんど参加していない方」だと答えている。

全体的に見ると、県民の約6割は地域のイベントや催し物・会合等にあまり参加していない。

図 1-2-7-1 問 1-18 イベント・催し物への参加

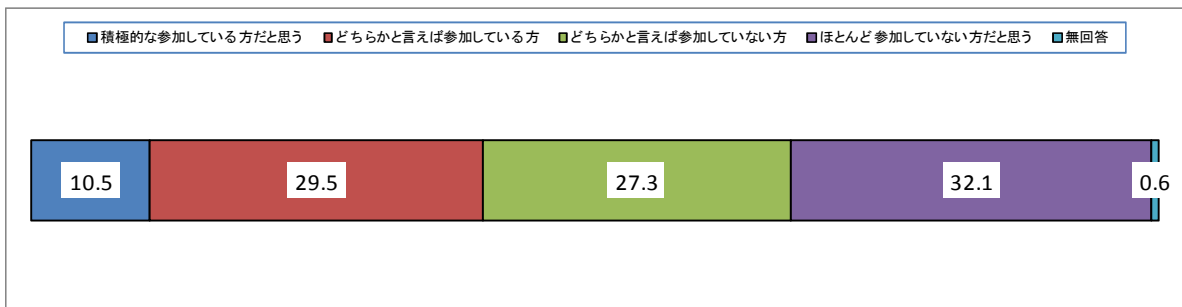


図 1-2-7-2 地域別 問 1-18

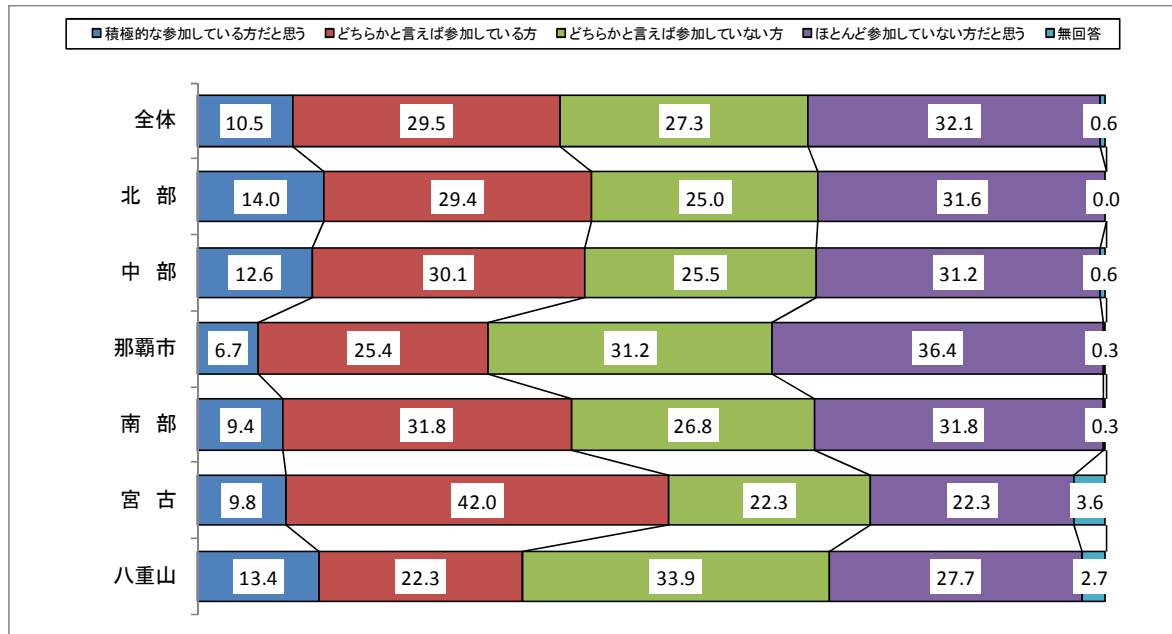


図 1-2-7-3 年代別 問 1-18

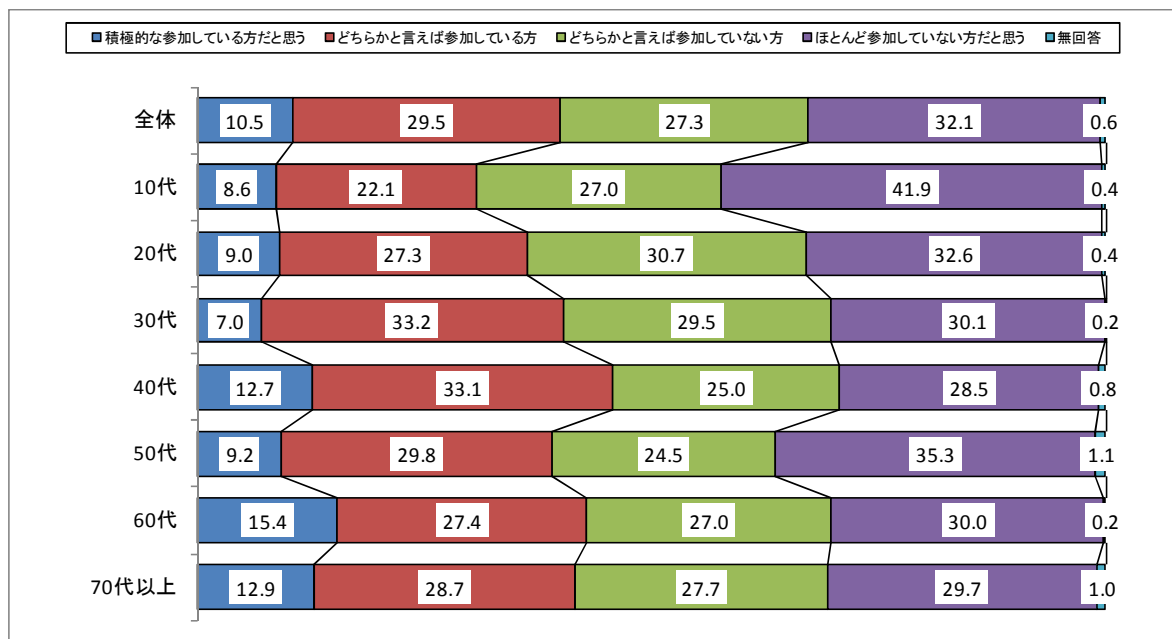


図 1-2-7-4 性別 問 1-18

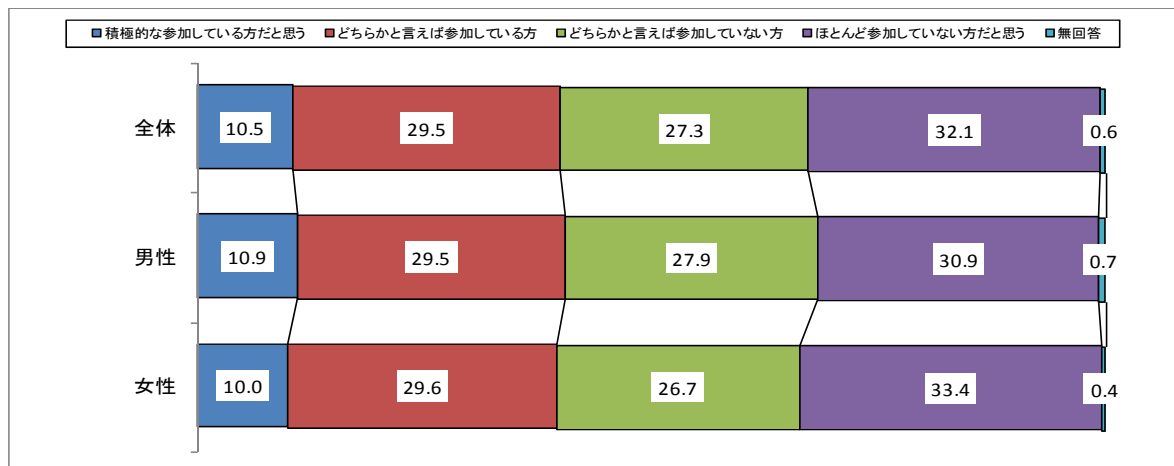


図 1-2-7-5 年収別 問 1-18

